



# 愛知陸協広報

第57号

令和4年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号 ハレラニ千代田ビル301

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

## 陸上競技の素晴らしさを伝えたい

副会長 梅村 清英

アスリートが厳しい練習で培った技とパワーを解き放ち、躍動する姿に拍手が送られる一。2年余りの試練のときを経て、まだまだ制約が残るとはいえ、スポーツを楽しむことができる環境が徐々に戻ってきています。かつては当たり前に行なっていたスポーツイベントや、それに向けた練習、あるいはスポーツへの応援が、私たちが生き生きと日々を送っていく上でどれほど大きな意味を持つものなのか、そのありがたみを改めて認識させてくれた期間であったようにも感じます。陸上競技を通じたスポーツの普及・振興に尽力されている愛知陸協会員の皆様、改めて深く御礼を申し上げます。併せて、新型コロナウイルスに対しては今後も感染防止対策の徹底が求められますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、7月にアメリカのオレゴンで開催された世界選手権では、愛知陸協の選手が素晴らしい活躍を披露してくれました。男子20km競歩では山西利和選手（愛知製鋼）が東京五輪の銅メダルを超える金メダルを獲得し、見事に2連覇を達成しました。川端魁人選手（中京大クラブ）は男子1600mリレーに出場し、2分59秒51という日本新記録で、史上初の4位入賞を果たしました。愛知の陸上界にとって、大いに誇るべきことと言っていいでしょう。また入賞はならなかったものの、田中希実選手（豊田自動織機）、西山雄介選手（トヨタ自動車）、山本聖途選手（同）、山口浩勢選手（愛三工業）の健闘に対しても、心より拍手を送りたいと思います。

一方で、若い芽もしっかりと育ってきています。徳島県で8月に開かれた全国高校総体では、中京大学附属中京高校が2年連続3度目の女子総合優勝を果たしました。女子400mリレーで優勝したのに加え、100mで蔵重みう選手、100mハードルと七種競技で林美希選手が優勝を飾るなど、日頃の練習の成果を存分に発揮してのことであると思います。愛知県勢ではほかにも、松村琴都選手（瑞陵高校）が女子走幅跳で優勝するなど、多くの選手の健闘が光り、将来への期待は大きく膨らむばかりと言えます。

陸上界では今後、来年に開催が延期された中国・杭州でのアジア大会、さらに2024年のパリ五輪とビッグイベントが続きますが、さらにその先には、私たちにとっても全力で臨んでいくべき2026年の第20回愛知・名古屋アジア大会が待ち受けます。地元で練り上げられるトップアスリートの競演を通じて、一人でも多くの県民の皆様に、陸上競技の素晴らしさを感じてもらうことこそ、大会開催の最大の意義であろうと思います。地元選手の育成はもちろんですが、陸上競技への関心の盛り上げも課題となっておりまますので、会員の皆様には、一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

## 山西選手が20km競歩で世界陸上2連覇達成

7月にアメリカ（オレゴン）で行なわれた第18回世界陸上競技選手権大会にて、20km競歩に出場した山西利和選手（愛知製鋼）が見事連覇を達成しました。また、4×400mRで2走のメンバーとして日本新記録で4位入賞を果たした川端魁人選手（中京大クラブ）も大活躍をしました。そのほかにも愛知出身の選手の活躍が目立ちました。本当にお疲れ様でした。



2連覇の山西利和選手（愛知製鋼）



川端魁人選手（中京大クラブ）

(写真は陸連ホームページより)

## 専門委員会報告

### 総務委員会

10月末の「愛知県中学生新人陸上競技大会」、これに続く11月初めの「小学生陸上選手権大会」をもって愛知の2022年のトラック&フィールドが終了しました。多くの審判員の方々のご協力により競技運営ができましたことに感謝いたします。

この後は、長距離や駅伝（県高校・東海高校）等の大会、年明けには「競歩」「マラソン」と続きます。当委員会もこれらの大会に向け、各委員会や各方面と連携しながら活動を進めていきます。引き続き、多くの審判員の方のお力をお借りしての大会運営になりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

(水野 隆夫)

### 競技委員会

トラック&フィールドの大きな大会である国体も終わり、駅伝、ロードの競技会が始まっています。ウィメンズマラソンも以前の大規模大会に戻っての開催になります。残念ながら犬山ハーフマラソンは、コース上のトンネル内壁の一部崩落による通行止めで、中止となりました。愛知陸協駅伝も、会場であるモリコロパークがジブリの関係で使えず、中止になりました。市町村駅伝や豊橋ハーフマラソンは予定どおり開催されます。開催される大会に多くの審判員の協力をお願いします。

今年も緩和されつつもコロナ対策をしながらの競技会になりました。来年が今までどおりに競技会が開催されることを切に願っています。

競技会運営に関してルールの変更を確認してください。そのためにも、3月に各地で行なわれる審判伝達講習会への参加をお願いします。

パロマ瑞穂スタジアムの改築工事が始まりました。手狭な競技場での競技会運営ですがいろいろな声を頂き、よりよい競技会運営のために取り組んで行きたいと思っております。2026年まで不便をおかけしますがご協力をお願いします。

競技委員会では来年度の競技会日程の調整準備に入ります。

(榎原 茂)

### 施設・用器具委員会

#### 1. 器具・備品等の取扱いについて

このところの景気低迷並びに感染症拡大による行動制限等が要因となり、依然として自治体の財政が厳しい状況にあります。本陸（瑞穂）が改築される一方で、残念ながら公認を取り止める競技場・長距離競走（歩）路が出てきました。当然、器具・備品等の更新並びに修理についても渋られ、陸協サイドから交渉はしておりますが、実際に使用される皆様方にも、道具の「やさしい」「丁寧な」「正しい」「清潔な」取扱いについて、また片付けの際には「整理・整頓」を心掛け、次の使用者が万全な状態で気持ち良く使えるようご協力をお願いします。なお、「調子が悪い」「動かない」「壊れた」など発見された場合は、その日の内に

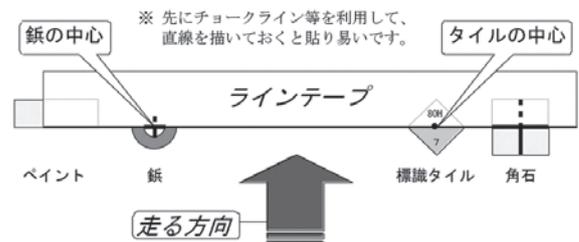
当委員会の正副委員長または競技場担当者まで、報告・連絡・相談をしてください。

#### 2. 長距離・ロードシーズンを迎えるにあたり

この時期になると、公認・非公認大会に関わらず、競技役員として携わる機会が増えると思いますので、よく話題に挙がる3つの件について確認しておきます。

##### ① ラインテープの貼り方

スタート・フィニッシュ、主要ポイント等に、幅広の白いラインテープを貼る場合は、競技者から向かって手前側にテープの縁と、鋏などの中心及び、ペイントの手前側を合わせるようにします。このことは、公道でもトラック内（80mH, メドレーリレー etc.）に貼る場合でも同様です。



##### ② ロードコーンの置き方

公認コースの場合、全長が変わると記録が認められないので、実際にコースを計測した者（自転車計測員・検定員）の指示通りに設置してください。非公認コースの場合は、主催者ないし警察の指示に従ってください。

##### ③ 標示板等の見せ方

ラップ旗のように基本選手のための表示板は、アナウンサー・観衆向けではないので、走っている選手から見やすい向きに選手と接触しないように設置してください。

#### 3. 瑞穂公園競技場の進捗状況

現在、月1回のペースで稲垣専務理事をはじめ、青木名古屋地区陸協会長を中心に、交渉・話し合いを進めています。これまでに、各階層の諸室の設計、フィールド競技場所の配置、公園内での選手・観衆の動線についてまとまりつつあり、備品、器具、電子・情報関連施設の選定について議論を続けています。まだ、計画段階であるため、図面等を公表することはできませんが、事業者の(株)瑞穂LOOP-PFIから、『名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業 施設整備業務』（リンク先：<https://www.mizuho-stadium-construction.com/>）というウェブページが公開されておりますので、決定した内容についてはそちらをご覧ください。新しいところでは、解体された本陸の様子が掲載されています。

(平川 貴之)

### 審判委員会

いちご一会とちぎ国体より

去る10月6日（木）から10日（月）に開催された「とちぎ国体」に視察として行く機会をいただきましたので、主に審判活動の新しい動きについて報告いたします。

## クラブ紹介⑤1 藤が丘 BC (ブリアンテ セレッソ)

藤が丘ブリアンテセレッソは設立2年目の新しいクラブです。地域の駅伝大会に参加するために、有志を募ったことがきっかけで設立されました。

コロナ禍で、駅伝大会は残念ながら中止になりましたが、子どもたちの「このまま練習を続けたい!」という声により、現在も活動を継続しています。藤が丘学区から予算をいただけたことに加えて、地元OBの協力もあり、現在は、50人を超える規模となりました。指導には、地域の有志のメンバーと保護者が自主的に参加しています。

また、学区体育委員会委員長とのご縁により、オリンピック強化選手を招いてのトレーニングも行ないました。子どもたちには、大変刺激になる有意義な機会となりました。

た。1年目は、各大会でトラック競技に参加。2年目は、トラック競技のほか、走幅跳やジャベリックボール投にも参加し、少しずつ結果を残すことができるようになってきました。

今後も子どもたちの「やってみたい!」という思いを大切に、いろいろな競技に参加できるように活動していきます。そして、子どもたちがスポーツを楽しむ環境を提供していきたいと考えております。

(加藤 主)

連絡先メールアドレス birdyrush66@yahoo.co.jp



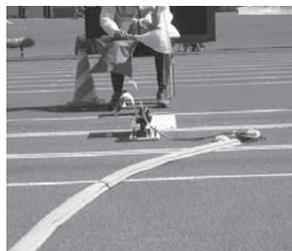
メンバーの集合写真



練習風景

### 1. 長さの跳躍における踏切判定へのビデオカメラの導入

ビデオ判定を行なう際には、踏切板に粘土板を設置しないことになっている。粘土板があったところはラバーで窪みが埋められ、踏切板と窪みを埋めた物の高さに段差がないように平らにされている。踏切判定の審判員は目視による判定で有効か無効かを判定する。ところが、踏切線ギリギリで踏み切った場合、粘土板があれば残った痕跡を見つけて比較的素早く判定できていたが、痕跡が残らないので審判員は判定に迷う場面が幾度か見受けられた。一方で、ビデオカメラの映像をモニターで見る担当審判員が控えており、踏切担当審判員が迷ったときにはすぐにモニター担当の審判員とコミュニケーションし、旗挙げをしていた。また、モニターは選手用にも設置されており、ファウルの場合の確認がスムーズにできるようになっていた。



目視とビデオの同時判定



ビデオカメラのモニター映像

### 2. 競歩審判におけるタブレットパソコンの導入

徳島インターハイで導入されたと聞きますが、今国体でも歩型判定の競歩審判記入用紙やレッドカードの集約のためにタブレットパソコンが導入されていた。タブレットへの入力で競歩記録員のもとに集約でき、カードを持って走る連絡員が不要になった。また、掲示板ともつながっていて、従来、掲示板担当の審判員が連絡を受けて手作業で書き込んだり、張り付けたりしていた作業も不要となっていて、素早い判定の表示ができていた。これにより、選手や観衆はタイムリーに情報を得ることができ、「ゴール後に失格が判明しました。」ということがなくなるであろう。

いずれは本県においても運用されていくことになると思います。各種機器の取り扱いに慣れていく必要がでてきます。審判員同士で情報共有していただいたり、御準備していかれるようお願いいたします。



レッドカードのマグサイン表示

(伊藤 明久)

## 選手強化委員会

### 栃木国体報告

第77回国民体育大会(栃木いちご一会大会)への愛知県陸上競技選手団の派遣につきまして、格別のご配慮をいただき関係者一同深く感謝申し上げます。

今大会は第75回鹿児島国体(延期)・第76回三重国体の中止もあり、3年ぶりの開催となりました。10月6日(木)～10日(月)の5日間、栃木県のカンセキスタジアムを会場に開催されましたが、期間中のほとんどが、雨と気温12℃前後の厳しい環境下での試合となりました。そんな悪条件の中でトラック・跳躍・投擲のいずれにおいても下記の結果を残し、愛知の存在感を存分にアピールしてくれました。チーム愛知は31種目(29名)にエントリーをし、少年女子A100mHの林美希さん(中京大中京高)と、成年女子5000mの山本有真さん(名城大)の2種目での優勝をはじめ、13種目で入賞を果たしてくれました。



林美希選手  
(中京大中京高)



山本有真選手  
(名城大)

選手の頑張りももちろんですが、特にキャプテンの伊藤弘大くん(至学館大)と、明星光さん(中京大)が、チーム愛知のスタートとなる合宿から他の選手・スタッフとコミュニケーションをとり、選手団の中心となってよくまとめてくれました。そのお陰もあって、選手一人ひとりが愛知の代表という自覚と誇りを持ち、最後まで全力で戦えたと思います。残念ながら入賞を果たせなかった選手も、来シーズンに向けて新たな決意をしていたようです。今後も愛知の中心選手として、自らの競技力向上に努力をしてくれることと思います。

総合成績では、残念ながら天皇盃(男女総合)は12位と入賞は逃しましたが、皇后盃(女子総合)では4位入賞という結果でした。

今後も本県陸上競技の競技力向上と普及・発展を強化委員会の重点目標とし、強化・普及活動を進めて参ります。更なるご支援とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



チーム愛知のみなさん

### 栃木国体愛知県選手団結果一覧

種別	種目	氏名	所属	記録	順位
成年男子	100m	河田 航典	立教大	10.91 (-0.9)	
	300m	吉津 拓歩	TOYO TC	33.56	
	やり投	坂本 達哉	T-LAB0	73.34	4
成年女子	100m	蟹江璃彩子	中京大	12.31 (-0.8)	
	5000m	山本 有真	名城大	15.16.71 大会新 日本人学生最高	1
	棒高跳	所 杏子	ラフィネ陸上部	3m80	7
	走幅跳	明星 光	中京大	5m81	12
	やり投	辻 萌々子	九州共立大	52m63	9
少年男子A	100m	小島 拓真	名古屋大谷高	10.87(+0.3)	7
	300m	小島 颯太	岡崎城西高	33.95	
	300mH	富山 詞央	豊川高	38.01	
	棒高跳	林本 匠平	中京大中京高	NM	
	走幅跳	森部 諒	名城大附属高	6m78	25
	ハンマー投	神戸 良介	三好高	63m33	3
少年男子B	100m	浅井 央真	瑞陵高	11.19 (-0.9)	
	110mH	西垣 俐玖	中京大中京高	14.59 (-0.5)	
少年男子共通	800m	山田 直希	中京大中京高	1.53.55	4
	走高跳	加古 彩人	中京大中京高	1m95	15
少年女子A	100m	蔵重 みう	中京大中京高	12.14	2
	300m	小松このみ	安城学園高	39.74	
	800m	森 千莉	豊田大谷高	1.06.97	3
	100mH	林 美希	中京大中京高	13.63	1
	300mH	和佐田真広	中京大中京高	4.21	6
少年女子B	やり投	堤 陽菜	名古屋大谷高	48m28	6
	100m	佐藤 俐有	至学館高	12.55 (-2.4)	
少年女子共通	100mH	大和 令奈	岡崎城西高	14.52(+0.5)	
	走高跳	矢野 夏希	時習館高	1m62	9
成年少年男子	4×100mR	浅井 央真	瑞陵高	40.94	
		小島 拓真	名古屋大谷高		
		伊藤 弘大	至学館大		
		河田 航典	立教大		
成年少年女子	4×100mR	佐藤 俐有	至学館高	47.35	
		蟹江璃彩子	中京大		
		小松このみ	安城学園高		
成年少年男女混合	4×400mR	蔵重 みう	中京大中京高	3.26.93 県新	7
		小島 颯太	岡崎城西高		
		和佐田真広	中京大中京高		
		森 千莉	豊田大谷高		
		吉津 拓歩	TOYO TC		

天皇盃 74点 第12位

皇后盃 54点 第4位(少年女子第2位)

(明星 光信)

## 記録・情報処理委員会

### トラックシーズンを終えて

県中学新人、小学生選手権を終え、2022年度のトラックシーズンは一段落しました。本年度は豊田自動織機の田中希実さんの1000m、1500m、3000mの日本記録、中京大中京の林美希さんのU18 100mHの日本記録をはじめ、多くの県記録が樹立されました。

新たな種目・カテゴリーの増加に伴い、後日に日本記録として申請する可能性もありますので、トラックにおいて県記録以上の場合は写真判定画面の印刷・保存をお願いし

ます。また、ワールドランキングへの申請につきまして、全競技者の生年月日・JAAFのIDの記載が必要になります。これまでの競技会におきまして、これらのデータの不備がかなり目立ちました。競技会への申込にあたり、これらのデータとともに、氏名のローマ字表記を必ずご確認ください。

また、NANSの種目作成時に、3000mで作成するところを、1000mで作成し、種目名だけを3000mとしてある事例がありました。申請時に当該種目への登録ができず、メールでのデータ送信になり、陸連データベースへの反映がかなり遅くなりますので、種目作成時にはご注意ください。

2022年6月26日以降日本陸連のデータベースで確認できた県新記録

#### 一般男子

100m 10.12 (+1.4) 本郷 汰樹 (名古屋大 M2)  
[エコパトラックゲームズ (エコパ) 2022.11.03]

400m 45.73 川端 魁人 (中京大クラブ)  
[Seiko Golden Grand Prix TOKYO (国立) 2022.5.8]

3000m 7.51.10 服部 弾馬 (トーエネック)  
[ホクレンディスタンス・北見 (北見) 2022.7.9]

#### 一般女子

1500m 4.05.30 田中 希実 (豊田自動織機)  
[オレゴン 2022 世界選手権 (オレゴン / ユージン) 2022.7.15]

1000m 2.37.33 田中 希実 (豊田自動織機)  
[ホクレンディスタンス・深川 (深川) 2022.6.22]  
2.41.31 後藤 夢 (豊田自動織機)  
[TWOLAPS MIDDLE DISTANCE CIRCUIT in HYOGO (ユニバ) 2022.10.15]

3000m 8.41.93 田中 希実 (豊田自動織機)  
[ワールドアスレティックス・コンチネンタルツアー (ローマ) 2022.8.30]  
8.49.65 後藤 夢 (豊田自動織機)  
[ホクレンディスタンス・北見 (北見) 2022.7.9]  
8.52.19 山本 有真 (名城大 / 4)  
[ホクレンディスタンス・北見 (北見) 2022.7.9]  
8.54.80 川口 桃佳 (豊田自動織機)  
[ホクレンディスタンス・北見 (北見) 2022.7.9]

5000m 14.58.60 田中 希実 (豊田自動織機)  
[全日本実業団対抗 (長良川) 2022.9.25]

100mH (83.8cm\_8.5m)  
13.17 (+2.0) 大松 由季 (愛教大ク)  
[田島直人記念 (維新百年記念) 2022.10.16]

#### 一般外国人女子

1500m 4.05.30 L・H・エカラレ (豊田自動織機)  
[ホクレンディスタンス・土別 (土別) 2022.7.02]

#### 高校女子

100mH (83.8cm\_8.5m)  
13.46 (+1.5) 林 美希 (中京大中京 / 2)  
[県高校総合体 (岡崎龍北) 2022.5.20]

100mYH (76.2cm\_8.5m)  
13.32 (+0.9) 林 美希 (中京大中京 / 2)  
[U18 競技会 (愛媛) 2022.10.21]

300mYH (76.2cm\_35.0m)  
42.71 和佐田真広 (中京大中京 / 3)  
[国民体育大会選考 (瑞穂北) 2022.7.2]  
42.71 松村 琴都 (瑞穂 / 2)  
[U18 競技会 (愛媛) 2022.10.21]  
42.84 夏目 紗彩 (豊川 / 3)  
[国民体育大会選考 (瑞穂北) 2022.7.2]

#### 4 × 400mR

3.40.49 中京大中京高  
(中澤 愛菜(2)・和佐田真広(3)・中野 知咲(3)・平野 里歩(2))  
[日本陸上競技選手権・リレー (国立) 2022.10.01]

#### 中学男子

1000m 2.30.02 鈴木 太智 (豊橋東陽 / 3)  
[U16 競技会 (愛媛) 2022.10.21]

#### 4 × 100mR

41.94 愛知県選抜  
(中島 悠太(3)・巻口 周平(3)・内藤 翔真(3)・小野 真大(3))  
[名古屋地区中学新人 (朝宮公園) 2022.9.17]

#### 中学女子

三段跳 11.19 (+0.9) 近藤 愛 (岡崎甲山 / 3)  
[県ジュニアオリンピック (瑞穂北) 2022.9.3]

(石鎚 一則)

## 各地区報告

### 名古屋地区陸上競技協会

1982年、瑞穂公園陸上競技場が土から全天候型舗装等と全面改築され、6月6日、日中友好10周年記念愛知県・江蘇省交換陸上競技大会が、こけら落とし大会として開催されました。この年は、日中国交回復10年という節目の年で、奇しくも名古屋地区選手権の再スタート(第11回)でした。1953年に愛知陸協規約の改正で名古屋、尾張、西三河、東三河の4支部が設置されました。各支部の選手権の歴史は、尾張地区は今年69回、西三は55回、名古屋は50回、東三は38回となり、地域の競技力向上に一翼を担う大会として地区の重要な位置づけとなっています。今回の名古屋地区は、尾張と西三河地区に続く開催回数となっていますが、名古屋市内に事務所を置く愛知陸協役員とほぼ同一人事となっていたためか、なかなか支部独自の大会がもてなかった時代もあったようです。いずれにせ

## 学校訪問④7 安城市立安城西中学校 今年度県中総体女子の部総合優勝

今回は、今年の県中総体女子の部で総合優勝(24点)を果たした安城市立安城西中学校を、県の中学新人戦を一週間後に控えた日曜日に訪問しました。安城西中は県中総体の4×100mRで優勝しているのですが、そのメンバーの一人の山本 遥選手は10月1・2日に行なわれた全国リレーフェスティバルにおいて4×100mRの県代表として出場しています。

安城西中は上記のような活躍を見せているのですが、訪問してまず驚いたことは練習環境です。校庭のグラウンドには陸上部専用のトラックがありません。校庭には東側と北側にフェンスが並べられており、その中を区切って野球部、サッカー部、テニス部、ハンドボール部が活動しています。陸上部が使えるのは、並べられたフェンスの北側のおおよそ100m×5mほどの直走路しかないのです。今までの学校訪問の記事の中でちょくちょく坂道や階段、砂浜といった“地の利”なるものを紹介してきましたが、地の利が無いどころか中長距離グループが走れそうな周回コースもありません。短距離グループが走るような曲走路もありません。また、お話を伺っていると、主顧問の中根一樹先生は器械体操の経験者で陸上競技の経験者ではありません。副顧問の先生も陸上競技の経験者ではなく、指導はもっぱら中根先生の手にゆだねられているとのことでした。



陸上部が使用可能な範囲

環境に恵まれない中でも県の中学総体で総合優勝を果たしたので、必ず強さの秘訣があるに違いないと思って取材に当たりました。取材の中からいくつかの点を報告します。

まずは何と言っても、中根先生の指導方針です。始まりの練習内容は動きづくりで、ドリルや縄跳び走(前向き・後ろ向き)、ハードルドリルが30分ほどの時間をかけて丁寧に行なわれていました。中根先生によりますと、中学生は身体的に未発達で追い込んだ練習をすると動きが乱れ、余計な所に力みが生じて故障につながってしまうので、正しい動きを身につけさせたいとのことでした。動きづくりの中で行なわれていた縄跳び走は、中根先生が最初に教壇に立たれた時の外部コーチの紹介で尋ねた県外の強いチームの練習から学び取ったものだそうです。フラット接地を身につけるにはもってこいの練習ということで今も続けているとおっしゃっていました。強いチームの練習から学び取ったものはたくさんありますよとも、時には選手を連れて強いチームの練習に参加させてもらったこともありますよとも話してくださいました。県中総体での優勝の要因の一つに、中根先生の研究熱心な姿勢を挙げておくことができると私は思いました。次には、「選手に考える余地を残す」「選手の主体性を大事にする」です。熱心な研究から得られたものも、発達途上の中学生には吸収できないことがあります。中根先生は、吸収できる状態になるまで与えるのを待つ、自分で考えさせるのだとおっしゃいました。その理由は、指導者の側が一方向的に与える、言わば押しつけるという状態で指導した選手が高校に入ってから伸びないという状態を何人も見てきたからとのことでした。もう一つ、「全てを自分で抱え込まない」を挙げてお



縄跳び走

きましょう。どういうことかと言うと、高い目標を持っている選手には地区のクラブチームでの練習を勧めているということです。選手の目標は、「自己記録を伸ばす」から「全国大会出場」までレベルに差があります。中根先生は高い目標を持った選手を一律の指導では伸ばしきれないとおっしゃいます。幸い安城市内には、安城JY(ジュニアユース=安城JACの中学生チーム)などのクラブチームがあり、短距離グループは安城JYに、中長距離グループは別のクラブチームにお世話になっているとのことでした。安城JYのヘッドコーチが先に紹介をした山本選手のお父さんということもあって、連携して選手を指導してきたとおっしゃっていました。選手がクラブチームで学んだことを学校に持ち帰るといふ効果もありますよとも話してくださいました。先に地の利が無いと書きましたが、これが安城西中の地の利と言えるのではないのでしょうか。尾張地区にもAC一宮というクラブチームがあり、その練習に参加して成果を上げている選手たちがいることを私は思い浮かべました。

練習の最後は、縄跳び走40mほど→タイヤ押し50mほど→懸垂5回→ハードル走(4台)の校庭を一周する障害物競走風の1周350mほどのリレー×3本(セット間の休憩15分)でした。日曜日ということで陸上部だけの練習で、うまくコースを取れた、状況に応じてのメニューでした。負けチームには変形ランジウォークが+αで課されていましたが、これは大迫 傑選手が所属していたナイキの体幹トレーニングの一つで、中根先生によればユージュブで学んだものだとのことでした。文明の利器も大いに活用する必要があります。



タイヤ押し



変形ランジウォーク



伝統のTシャツ

最後にもう一つ。以前にも何校かで紹介したことがありますが、安城西中にも伝統のTシャツがあります。強いチームに限ったことではありませんが、「迷わず走れ 走ればわかる」のバックプリントに目を引かれました。選手たちは毎日のことで気に留めているかどうか分かりませんが、バックプリントの言葉が選手たちを後押ししているように思われました。

(取材・文責・写真 大西 敏功)

よ、今回半世紀という節目の大会を終え、ここまで支えご指導いただいた多くの先輩の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

今回の大会では、スムーズな表彰の試みとして競技終了後、アナウンスの記録発表と同時にゴール地点やフィールド内で、選手権賞授与セレモニーを行ないました。賞状は別室で後に受け取ることにし、表彰時間短縮と表彰控室が密になるコロナ感染対策も考慮しての運営をしました。選手にとっては決勝で戦った仲間からの祝福や、複数エントリー選手の表彰式待機時間もなく好評でした。

一方、7月26日に知多陸上競技場に於いて3000mSC体験イベント「CHALLENGE サンショー in 知多」を開催しました。知多市出身で東京オリンピック、世界選手権出場の山口浩勢選手を招いて実施したところ、夏休み中とはいえ平日の午後にもかかわらず、中学生から一般までの115名の参加がありました。トップ選手から技術指導や貴重な話が聞け有意義な普及練習会となりました。

(水野 久)

## 尾張陸上競技協会

今年度のトラックシーズンは、暴風等の影響もなく無事終えることができました。コロナ禍の競技会が続き、無観客での大会は盛り上がり欠け、標準記録突破を狙っていた競技者の方々には大変申し訳なく思っています。

そんな中、THROWING LABOの坂本達哉選手が男子やり投で、日本選手権で8位、全日本実業団選手権で5位、国体で4位入賞と安定した力を発揮してくれました。また、U18陸上競技大会では、樋口 諒選手（一宮高）が男子800mで3位入賞と健闘してくれました。

一方、尾張選手権は好天に恵まれ、尾張新1、大会新6が誕生しました。砲丸投で尾張新・大会新で優勝した上床隆太選手（岐阜協立大）と800m大会新で優勝した市川真帆選手（西春高）が最優秀選手に選ばれました。ただ参加競技者がかなり減少しただけに、今後の普及に力を注がなければなりません。

### 全日本中学陸上競技選手権大会出場選手

男子	200m	小島 讓	(佐織西)
	走高跳	伊藤 望垂	(宮田)
		岡松 晴芽	(古知野)
	四種競技	坂井 大一	(甚目寺)
女子	100m	今井美莉愛	(古知野)
		高崎 生愛	(治郎丸)



選手権賞を優勝者に贈呈

### U18 陸上競技大会出場選手

男子	800m	樋口 諒	(一宮高)
	砲丸投	柳 勇次	(誠信高)
	ハンマー投	市原 想太	(愛西工科高)

いよいよ季節はロード・駅伝シーズンになります。例年、審判員不足に悩んでおります。何卒、ご協力のほど、宜しくお願いします。

(青山 充資)

## 西三河陸上競技協会

2022年の競技会もコロナウイルス感染症対策を講じての大会となりました。現時点では、昨年のように中止した大会はなく、全て開催することができています。しかしながら、大会の実施方法は見直され、会場の様子は大きく変化しました。選手の来場方法と滞在時間の規制、競技場内での動線規制等を行ない、感染防止に努めました。今ではこの方法が定着しています。さらに、選手どうして大声をあげて声援する風景は見られなくなりました。最近では手拍子での応援が定着しています。選手以外にスタンドで観戦できるのは、各チーム数名の代表者のみとなり、静かで寂しい感じがします。

中高生の選手たちは、3年で全て入れ替わります。私が危惧していることは、来年度からは従来の大会の様子を知る中高生がいなくなるということです。学校ごとにベンチを確保し、部員同士がお互いに大きな声を出して応援するといった経験を持つ選手たちがなくなるのです。競技会に出場するだけでなく、補助員として競技会運営に関わったり、他チームの選手や部員と交流したりすることも無くなってしまう。この年代の生徒にとって、貴重な経験ができなくなることは残念です。

その半面、大会の実施方法の変化にともない、良い面も出てきました。新しい試みとして、全ての大会において記録速報を実施しています。また、小学生大会以外の大会では、ライブ配信を実施しています。これらの活動はほぼ定着し、利用者も増えています。

次に、東京オリンピック・パラリンピックの影響についてまとめておきます。日本のスポーツ界も多様化の時代を迎えました。当地区の陸上競技大会の参加者も、その幅が広がってきました。自分の練習成果を確認する選手、上位の大会を目指す選手、マスターズの選手、デフ陸上の選手、パラ陸上の選手、そして、海外の大会を目指す選手等々、参加する選手を一元的に扱うことができなくなっています。主たる所属陸協も異なっています。そのため、競技規則や記録の申請等が従来のやり方と一部異なるということがありました。今後の課題として、目的や目標、カテゴリーの異なる選手たちに適切に対応するため、その選手に寄り添った競技会の運営方法について、早急に検討する必要があると感じています。

(櫻井 一美)

## 東三河陸上競技協会

今年のトラックシーズンも新型コロナウイルスの第7波の感染拡大の中、制限付きながらも有観客が必要最小限の補助員を動員してすべての競技会を運営することができま

した。コロナ禍で大変な中、生徒の指導に当たってくださった小中高等学校の指導者の皆さんと、競技会の運営にご協力くださった審判員の方々に心より感謝いたします。そして、コロナ禍で活動が制限された時期もありましたが、競技会に参加できることに感謝の気持ちをもって全力で競技してくれた選手の皆さんにもお礼を言いたいと思います。



表彰式直後の鈴木選手(左)と小倉選手(右)  
(写真提供:スポーツとよはし)

練習不足で記録的にはやや低調な種目もありましたが、今年も東三河の小中高校生が多数全国大会に出場することができました。先ず高校生では、徳島で8月3日～7日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、4校からリレー2チームと個人11名が出場を果たしました。そして、夏目紗彩選手(豊川)が女子400mHで5位に入賞し、矢野夏希選手(時習館)が女子走高跳で8位に入賞しました。

中学生では、福島で8月18日～21日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、8校から個人8名が出場を果たしました。そして、鈴木太智選手(東陽)と小倉天心選手(南陽)が男子800mで1位・2位を独占し、木林悠翔選手(豊川東部)が男子200mで6位に入賞しました。豊橋の中学生が全国大会で1位・2位を独占したのは、1971年のジュニアオリンピック陸上で大場謙祐選手(豊橋中部)と中島学選手(羽田)が男子200mで達成して以来の快挙です。

小学生では、神奈川で8月20日に行なわれた全国小学生陸上競技交流大会に、豊川陸上クラブが男女混合4×100mRに初出場して4位に入賞しました。来年以降も東三河で切磋琢磨して、全国大会に愛知県の代表として多くの選手が出場して欲しいものです。

今後はロードレースシーズンとなります。コロナの第8波が心配されますが、中部・北陸実業団駅伝が久しぶりに有観客で実施され、他の大会も有観客で盛り上がることを期待しています。

(兵藤 重二)

## 関係団体報告

### 小学生友の会

“日清食品カップ”第38回全国小学生陸上競技交流大会が、8月19日(金)20日(土)の2日間で横浜・日産スタジアムにて開催されました。1日目は日産スタジアムでの前日練習とカップヌードルミュージアムの見学。ミュージアムではオリジナルカップラーメン作りも楽しみました。2日目の大会当日は青空の下、選手とコーチが協力し合い、全力で競技に挑むことができました。

その成果として、男子コンバインドBでは阿野射己君が大会新記録で2位、男子5年100mの二村奏颯君が3位

をはじめとして多くの種目で入賞を果たしました。今年度はリレー競技も行なわれ、無事に大会が開催されましたことに感謝いたします。子どもたちの生き生きと躍動する姿を見ることができたことをうれしく思います。



コンバインドBで2位の阿野射己選手

日清食品カップ 第38回全国小学生陸上競技交流大会結果  
日程: 2022年8月20日(土) 会場: 日産スタジアム  
男子

種目	氏名	所属	学年	決勝記録
6年100m	鈴木 快旺	知立ジュニア	6	予選 13.04 (-0.2)
5年100m	二村 奏颯	あつみクラブ	5	3位 13.02 (+0.2)
コンバインドA	山根 拓士	大須AC	6	4位 2340点 12.25 (+0.2) 1m35
コンバインドB	阿野 射己	トライル アスリートクラブ	6	2位 2392点 大会新 4m95 (-1.2) 57m71

### 女子

種目	氏名	所属	学年	決勝記録
6年100m	武井 陽南	なごや陸上クラブ	6	DNS
5年100m	田村 優芽	なごや陸上クラブ	5	B決勝 5位 14.12 (-0.1)
コンバインドA	浜本 恵瑠	TSM	6	6位 2124点 13.04 (+0.4) 1m28
コンバインドB	安藤 心美	刈谷 アスリートクラブ	6	7位 1865点 4m04 (+1.5) 44m81

### 混合リレー

種目	氏名	所属	学年	決勝記録
共通 4×100mR	①伊藤 桜良 ②中島 貫汰 ③宮道 菜々美 ④鈴木 陽仁 堂前 絢仁 新谷 紗彩	豊川 AC	6 6 6 6 5 6	4位 51.49



愛知県選手団

また8月20日(土)に開催された東海小学生陸上競技大会では、3名が大会新記録を樹立。6年男子100mと男女のコンバインドB、それに混合リレーでは表彰台を独占する活躍を見せてくれました。



東海小学生混合リレー決勝

(八代香津子)

## 中小体連

### ○全日本中学校陸上競技選手権大会(8/18～21 福島)

今年度の愛知県からの出場者数は、男女合わせて40名となりました。事前のPCR検査や陰性証明の必要はなく、選手は安心して競技会に臨むことができました。

今年の大会成績としては、男子は800mで東陽中の鈴木太智君が優勝、同じく豊橋南陽中の小倉天心君が第2位、200mで豊川東部中の小林悠翔君が第6位に入賞しました。女子は、四種競技で長久手南中の井坂優里さんが第4位に入賞しました。その他にも愛知県の選手の活躍が目される場面が多くありました。成果の背景には、日ごろの選手の努力はもちろんのこと、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の協力や支えがあり結果につながったと考えます。また、各地区での小中学生の強化普及活動が少しずつではありますが、結果につながったと感じます。

中体連陸上競技部として、これからも小学校、高校カテゴリーとの協力や連携を大切に、より多くの選手が全国大会に出場し、活躍できるように支えていきたいと考えます。

### ○2022リレーフェスティバル(10/1～2 国立)

これは今年度新設の大会で、以前はジュニアオリンピックで実施されていた都道府県選抜リレー競技が、3年ぶり

にこの大会で実施されました。選抜チームは9月に4回の練習を行ない、競技会に臨みました。

結果は男子が【中島悠太(守山北中)・巻口周平(田原中)・内藤翔真(小坂井中)・小野真大(東山中)]のオーダーで臨み、41秒81で6位入賞、女子は【佐藤那有(田原東部中)・坂本茜(大府西中)・時任陽菜(東山中)・山本遥(安城西中)]のオーダーで臨みましたが、惜しくも9番目の記録で決勝に進出することはできませんでした。しかし、チームベストである47秒59を出すことができました。普段の練習会やレースとは違う環境の中での試合でしたが、選手たちは順応することができ、それぞれ大きな成長を感じることができた大会でした。

### ○U16陸上競技大会(10/21～23 愛媛)

昨年に引き続き、本大会は愛媛県総合運動公園陸上競技場で実施されました。中学生と高校生の異なるカテゴリーが同時に全国大会で相まみえる形となり、中学生にとってはとても刺激的な競技会でした。

この大会の結果は、男子は、1000mで東陽中の鈴木太智君が第2位、150mで小坂井中の内藤翔真君が4位、ジャベリックスローで御幸山中の前田樹輝君が8位に入賞しました。女子は、150mで高豊中の布施一葉さんが8位に入賞しました。

この結果をふまえ、来シーズンの強化につなげていきたいと考えます。

(秋山 真一郎)

## 高体連

### 令和4年度を振り返って

令和4年度も愛知県高等学校駅伝競走大会を無事に終え、残すは本県開催の東海高校駅伝競走大会のみになりました。競技場内無観客対応が原則の大会運営ではありましたが、昨年度よりは保護者の皆様に競技会をより多く見ていただくことができたのではないかと思います。皆様のご協力により、多くの大会を無事に終えることができました。また、多くの方々から注目をいただいていることに感謝いたします。

本年度も愛知県高校総体と愛知県新人大会は、マルヤス岡崎龍北スタジアムでの開催となりました。競技場の方々を始め、西三河陸上競技協会の皆様方には本当にお世話になりました。使い勝手がよく、記録も出やすい競技場として理解をしています。来年度以降もご協力いただき、大会の成功に向けて頑張っていきたいと思えます。

全国総体は徳島県開催で、愛知県勢は目覚ましい活躍をしてくれました。中京大中京高校の2年連続での女子総合優勝を始め、個人でも5種目で優勝者を出すことができました。本年度は特に女子の活躍が目立ち、中京大中京高校は100mの蔵重みう選手、100mHと混成競技の2種目制覇の林美希選手、4×100mRの4種目で優勝者を出しました。また、走幅跳では瑞陵高校松村琴都選手がインターハイチャンピオンの仲間入りをしました。林美希選手と松村琴都選手は2年生での優勝でした。また、林選手は大会の女子最優秀選手賞も獲得しました。来年度にも大いに期待したいと思います。女子は17種目で入賞者を出すことができました。一方、男子は5種目の入賞にとどまって、少し残念な結果になってしまいました。しかし、県新人大

会での入賞披露では、男女合わせて多くの選手に記念品を贈呈することができました。また、表彰対象ではありませんが、県別対抗でも女子は愛知県が一番でした。日ごろの選手の皆さんの努力と指導者の方々のご指導の賜物と感謝申し上げます。

東海新人大会は本来静岡県開催ですが、昨年度の入替えて岐阜県開催となり長良川競技場で行なわれました。大会全体としては、愛知県勢の活躍は例年よりはおとなしい感じでした。来年度の北海道総体の前哨戦としては、少々さみしいものになってしまいました。種目によって入賞者に偏りがかなりあり、強化が急がれる種目が例年より多い感じがしました。この冬をしっかりと乗り越え、来年の6月に多くのインターハイ選手が誕生することを期待します。来年度の東海総体は静岡スタジアムエコパ競技場で開催されます。

愛知県高等学校駅伝競走大会は、男子は名経大高蔵高校が初の栄冠を勝ち取りました。接戦が予想され、注目度の高い中での大会でしたが、見事な試合運びであったと思います。女子は豊川高校が都大路への出場権を獲得しました。ここ数年はゴール後の選手の涙が心に残っていましたが、今年ではあふれんばかりの笑顔で、アンカーを迎えていた様子が、とても印象的でした。ここ数年愛知県は全国駅伝であまり目立った活躍ができていませんが、今年こそは両校の活躍を心から期待したいと思います。

新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しませんが、ウイズコロナの中でいかに大会を運営するかを模索しながら、多くの皆様の応援の下、大会が開催されるようになることを心から期待します。今後とも愛知県高体連陸上競技

専門部をよろしくお願いたします。

(石井 哲郎)

## 高体連定通部

定通制愛知県選手団 全国大会での活躍

8月に駒沢オリンピック公園陸上競技場にて全国定時制通信制陸上競技大会が行なわれ、愛知県は男女総合準優勝(女子総合優勝、男子総合準優勝)を果すことができました。7月の強化練習会、知多支部ジュニア記録会への参加など、練習の成果を存分に発揮することができました。本当に多くの方々のご理解ご協力が無ければ、達成できなかったと思います。

全国大会ではたくさんの選手が活躍してくれました。女子短距離では細野乙芽(城北つばさ)、泉知里、鈴木萌生(科技刈谷)らが複数種目での優勝・入賞を達成し、100mH 2位の今泉花音(刈谷東)を合わせた4名で、4×100mRで優勝するなど、圧倒的な強さを誇り、中長距離種目で田口貴子、石黒志歩(科技刈谷)、佐藤沙菜(豊橋)、砲丸投の呉屋邪悉明(豊橋)など1・2年生の入賞もあり、着実に点数を獲得しました。1・2年生は来年度に上位入賞が期待されます。

男子では田村珀英(科技刈谷)が、1500mとマイルリレーの準優勝に加え800m 3位と大車輪の活躍をしてくれました。他にも短距離で判家悠也(豊橋)が2種目入賞、投擲では吉田将隆(熱田)、山本陸(名古屋工科)が円盤投でダブル入賞、吉田将隆は砲丸投でも入賞し、着実に点数を稼いでくれました。中距離種目では、1500mで田村

## ホープさん ⑤1

### 下田 隼人 選手(豊川高校2年)

豊川高校2年生の下田隼人。中学校時代には、愛知県通信大会の男子110mユースハードルで大会記録を樹立。大きな期待を抱いて出場した全日中では、ハードルを手で倒してしまい失格という形で競技を終えた。

リベンジを誓い高校に進学したが、ハードルの高さに対応するための柔軟性や体格の壁にぶつかり、悩んだ結果400mHに挑戦することを決意した。中学時代は短い距離を中心に練習してきた下田にとっては大きな決断となった。しかし、陸上競技を心から楽しむ姿勢と、記録への強いこだわりが競技成績となって表れ始める。1年生の秋に挑んだ東海高校新人。種目変更からそれほど期間も経っていなかったが、400mHを53秒57で優勝。この種目の面白さがわかってきた。翌年の東海高校総体では2秒以上タイムを伸ばし、51秒40で優勝。

ここまで急激な成長を遂げた要因の一つは、富山詞央の存在である。同じ豊橋市立牟呂中学校出身で1つ上の先輩。同じ、400mHの選手である。富山は中学校時代、県大会に出場することはできなかった。本校に入学後、故鈴木克哉先生の勧めで同種目を始め、大きく記録を伸ばし、3年生ではインターハイ、国体に出場する。そんな先輩の成長を追いかけ、陸上の楽しさ、ハードルの面白さを追求する中で、気づけば隣で競り合う関係となっていた。

大きなスピードの変化は、身体に大きな負荷がかかる。東海総体で大記録を出した翌日の4×400mRの予選で肉離れ。その決勝では、大会記録を樹立したチームメートをスタンドから見守った。どうしても走りたかったし、もっと記録を伸ばせる自信もあった。そんな焦りから、怪我が長引き今回は競技会に出場しないことを判断した。「来年49秒台を出すための体づくりにちょうど良い期間になると思います」一足早く冬季トレーニングに入った下田は、この判断を前向きにとらえている。「全国優勝」ではなく、もっと先の記録を見据えていることに、驚かされた。

下田は新体制となったチームの主将を務める。ひとり別メニューに黙々と取り組む中で、グラウンドの誰よりも大きな声で、チームに檄を飛ばす。怪我をしたことで、自分の身体の弱さを知った。同時にチームとして取り組む陸上競技の価値にも気づくことができた。あの時、戦線から離脱した自分を救ってくれた仲間が存在が、より高みを目指す原動力となっている。そのうち日本の陸上界に衝撃を与える存在になってくれるのではないかと、期待してやまない。

(伊藤 孝哉)



2022 東海高校総体優勝

珀英、田島凜汰朗（一宮起工科）、栗山雄成（クラーク）がトリプル入賞、炎天下で行なわれた長距離種目でも粘り強い走りで見事な走りを見せた。濱口靖人（科技刈谷）がしっかりと点数を獲得しました。400mHでは2年生の金子凌空（科技刈谷）三浦聖司（クラーク）が入賞し、来年度は更なる高みを目指して欲しいと思います。

県内の定通制陸上競技者数の減少により戦力面で年々厳しくなっているところですが、今回の全国大会を通じ、改めて部活動の良さ、特に定通制における全国大会の重みを改めて実感しました。昨今の社会情勢で部活動は縮小の傾向にあります。しかし、運動機会の限られた定通制の生徒にとって部活動というのはかけがえのない活躍の場であり、承認の場、成長の場となっています。レベルは高くありませんが、それぞれが事情を抱える中、みんなで力を合わせて、全力を發揮する、日々の学校生活では味わえない爽快感と達成感がここ「定通制陸上競技」にはあると感じました。

10月9日には秋季大会も無事開催することができました。秋季大会、改めて温かくて良い大会だと思いました。審判の方々の温かく優しい雰囲気がこの大会を作っており、そのおかげで生徒も安心して大会に参加できているのだと感じました。ご多忙中、ご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。非公認の小さな競技会ですが、定通制通信制の生徒の輝ける場であるこの大会の運営に今後もご協力いただけると幸いです。



全国定通大会男女総合準優勝のメンバー

(原田 賢一)

## 学連

### 2022 学生トラック & フィールドシーズンから 駅伝シーズンへの展望

2020年から2年連続して中止となっていた第75回西日本インカレ（以下：西日本IC）が3年ぶりに中国四国学連の主催で愛媛県のニンジニアスタジアム（7/1～7/3）にて開催された。2020、2021年大会は東海学連の主催で開催を計画していたが、過去2年間の社会情勢では中止以外の選択肢がなかったため、今回は競技結果よりも予定どおり開催できたことに感謝している。西日本ICを経験している学年は現4年生（2019年・京都大会がコロナ前最後）のみとなり、選手および競技運営の立場でも手探り状態の準備から始まったが、複数種目において大会新記録が更新された（表1）。西日本ICは開催時期の季節柄、長距離選手にとってはコンディション調整が難しく、なおかつ各地区の全日本大学駅伝選考会を控えているため、エントリー自体を見送る選手も少なくない。それでも、皇學館大や愛知工業大、岐阜協立大といった全日本の常連チームは積極的に参加し、上位入賞するところを見るとチームとしての強化策がうかがえた。一方、学生女子長距離界をリードする名城大からも優勝を含む複数種目で入賞者が出ており、駅伝シーズンに向けて充実した調整ぶりがうかがえ

た。

全日本大学駅伝東海地区選考会（6/18）は、2つの出場枠の獲得を目指して、14チームのエントリーによって開催され、皇學館大が5年連続5回目の総合優勝により、11月の本戦への出場権を獲得した。2つ目の出場枠は、総合2位に入った愛知工業大学が3年ぶりに獲得。3位に名古屋大学、4位には岐阜協立大学が続いた。

夏季のトレーニング期を経て、学生陸上競技のナンバーワンを決める日本インカレ（9/9～9/11、京都）は、男子三段跳の学生記録保持者である伊藤 陸選手（近大高専）は、走幅跳を含む2種目2連覇が期待されていたが、走幅跳を棄権し、三段跳は2位であった。七種競技の田中友梨選手（至学館大）は、東海と西日本、そして日本インカレを含む学生選手権では負け無しのシーズンとなった。

インカレが終わると駅伝シーズンに入るが、台風や豪雨などの荒天が続いたため、全日本大学女子駅伝選考会は、当初の予定から延期開催となり、雨天のレースではあったものの中京学院大が4年連続4回目の出場権を獲得した。この女子選考会後に予定していた全日本大学駅伝東海学連選抜チームの選考レースは、荒天により2度の中止・延期となってしまったが、愛知陸協のご配慮により駅伝強化競技会（10/8、瑞穂北）にレースを追加していただき無事に実施することができた。本誌をもって、改めてお礼を申し上げます。

学生駅伝シーズンの皮切りとなった第34回出雲選抜駅伝（10/10、出雲市）は、東海学連代表として皇學館大が出場し、前回大会から順位を1つ落として15位という結果であった。名城大の史上初6連覇が期待された第40回全日本大学女子駅伝（10/30、仙台）は、前評判どおり名城大が総合優勝を果たした。レースは、1区の米澤奈々香選手がスタート直後から先頭に立ち2区へ中継。第3区の山本有真選手は、今回は第5区にエントリーされていた同級生の小林成美選手が持つ区間記録とタイ記録で第4区の谷本七星選手にタスキリレー。その谷本選手は、2位以下をさらに離し、自身の区間記録を約20秒更新した。最長区間の第5区（9.2km）のみ拓殖大の不破聖衣来選手に区間賞を譲ったものの、最終第6区の増淵祐香選手は区間新の快走を見せ先頭でフィニッシュした。全6区間中5区間で区間賞、そのうち2つが区間新と1つの区間タイ記録という結果は、お見事というほかないであろう。

女子駅伝の1週間後は、熱田神宮をスタート地点にして開催される全日本大学駅伝（11/6）を控えており、トラックからロードへの調整が上手く進んでいる皇學館大と久しぶりの伊勢路となる愛工大の活躍を期待する。このレース結果は、次号にて紹介することになるが、選手やチーム関係者の皆様には、大会が無事に終了することを切に願っております。

### 表1: 東海学連所属上位入賞者一覧

第75回西日本インカレ（愛媛）2022年7月1日（金）～3日（日）

【男子】	
伊藤 弘大（至学館大2）	100m 10.58 (-1.3) 1位
毛利 昂太（皇學館大2）	5000m 14.34.34 3位
小林 貫太（愛教大4）	10000mW 44.40.54 2位
伊藤 陸（近大高専S2）	三段跳 16m85 (+1.2) 1位 大会新
稲福 颯（中京大4）	砲丸投 15m78 2位、円盤投 52m08 1位
佐々木秀斗（岐阜協立大4）	ハンマー投 64m98 3位
花田 李樹（中京大2）	やり投 68m94 3位

【対校順位】 中京大 総合4位 フィールド3位 近畿大学工業高専 フィールド7位 岐阜協立大 混成4位
【女子】 原田 紗希 (名城大1) 5000m 16.23.68 2位, 10000m 33.51.25 1位 安藤 愛未 (至学館大2) 100mH 13.60 1位 杉本 彩 (常葉大2) 棒高跳 3m90 3位 田中 友梨 (至学館大3) 7種競技 5454 1位 水谷 佳歩 (中京大4) 7種競技 5044 2位
【対校順位】 中京大 総合7位 フィールド4位 混成2位 至学館大 混成1位

第91回日本インカレ(京都)2022年9月9日(金)～11日(日)

【男子】 本田 基偉 (岐阜大3) 走高跳 2m10 3位 伊藤 陸 (近大高専S2) 三段跳 16m30 (+1.0) 2位
【対校順位】 中京大 混成6位
【女子】 山本 有真 (名城大4) 5000m 16.10.17 1位 原田 紗希 (名城大1) 10000m 33.09.65 2位 田中 友梨 (至学館大3) 7種競技 5506 1位
【対校順位】 名城大 トラック7位 / 至学館大 混成2位

(黒須 雅弘)

## 実業団

トラックシーズンを終えて

### 【世界陸上】

2022年度は、7月にアメリカ(オレゴン)にて世界選手権が開催されました。愛知県登録実業団からは6名の選手が出場し、活躍しました。その中で20km競歩の山西利和選手(愛知製鋼)が1時間19分07秒の記録で優勝し、世界選手権2連覇を達成しました。また、男子4×400mRで2走のメンバーとして4位に入賞を果たした川端魁人選手(中京大クラブ)も活躍。記録も3分の壁を初めて切る2分59秒51の日本新を記録しました。日本記録保持者として今後ますますの活躍を期待します。田中希実選手(豊田自動織機)は、800m、1500m、5000mと日本人初となる3種目に出場しました。東京オリンピックで8位入賞した1500mでは、惜しくも決勝進出とはなりませんでしたが、準決勝に進出し、4分05秒30と(全体14位)健闘しました。棒高跳の山本聖途選手(トヨタ自動車)も5m65cm(全体15位)と決勝進出とはなりませんでしたが、好記録を出し、日本記録への手応えを得ました。マラソンでは、西山雄介選手(トヨタ自動車)が出場。猛暑の中、2時間08分35秒の13位と健闘しました。3000m障害の山口浩勢選手(愛三工業)も8分30秒92と健闘しました。



田中選手

山本選手

西山選手

山口選手

### 【全日本実業団】

9月の全日本実業団選手権では男子では、円盤投の湯上

剛揮選手(トヨタ自動車)が57m28で優勝。1500mの野口雄大選手(トーエネック)が3分42秒08で2位。競歩10000mWの丸尾知司選手(愛知製鋼)も39分06秒73の2位。ハンマー投げの墨訓熙選手(小林クリエイト)も68m47を記録し、2位と健闘しました。女子では、田中希実選手が1500mで4分10秒41で優勝、5000mでは14分58秒60で2位と活躍しました。

(中村 博之)

## マスターズ陸上

今年のトラックシーズンも終盤となりましたが、愛知マスターズのこれまでの各大会が下記のとおり開催できましたこと、関係各位に対し厚く御礼申し上げます。まだまだ新型コロナウイルスの感染が完全に収束するまでには時間を要すると思いますが、関係者の皆様と協力しながら今後の競技会運営に努めてまいりたいと思います。

<令和4年度これまでに開催した競技会> 参加者数(公認申込)

大会名	開催日	会場	男	女	合計
第84回記録会	4月24日(日)	ウェーブ スタジアム 刈谷	192	28	220
第85回記録会	5月14日(土)		165	20	185
第31回愛知マスターズ選手権	6月19日(日)		319	63	382
第86回記録会	7月3日(日)		169	29	198
第87回記録会	8月21日(日)		182	25	207

今後の競技日程としては、12月18日(日)に「第35回全日本マスターズ駅伝大会」が国営昭和記念公園(立川市)で開催されます。

昨年はコロナ禍においてメンバー選考が間に合わず不参加となりましたが、今年は男子の部に精鋭メンバーを揃えエントリーいたしました。

以下、出場選手のこれまでの主な成績

- 1区 藤城 健(名古屋市) 62才  
2020年60～64才 マラソンランキング全国1位  
2022年 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン60代1位  
他フルマラソン、トライアスロンなど、全国大会で上位入賞多数
- 2区 中野 哲也(名古屋市) 54才  
2019年 しまだ大井川マラソン 50代1位  
第29回全日本マスターズ駅伝優勝メンバー
- 3区 近藤 直樹(知多郡) 46才  
第31回、第32回全日本マスターズ駅伝40才～44才 区間1位  
全日本実業団駅伝出場
- 4区 大塚 良軌(東海市) 36才  
2013年別府大分毎日マラソン4位  
箱根駅伝出場、ニューイヤー駅伝出場
- 5区 酒井 一(豊田市) 29才  
2017年いびがわマラソン1位  
2022年ぎふ清流ハーフマラソン一般の部1位  
サブメンバー 岩田 眞治(知多市) 63才

愛知チーム男子の部の過去(直近10年)の成績は、第24回、第29回、第30回、第31回において「優勝」、第32回において2位という輝かしい成績でした。

—村瀬裕之監督の本大会への意気込み—

コロナ感染が流行する中、継続して練習を頑張っておられる、力のある選手でメンバーを組むことができました。全員がベストの状態です。スタートラインについてくれれば優勝争いもできるメンバーが揃ったと思っております。優勝回数を増やすことができるように選手の方々と共に頑張ります。

第35回大会の結果につきましては次号で報告できればと思います。

(兵藤 隆昭)

OB・OG会

7月17日午後5時より名古屋ガーデンパレスで、愛知陸協OB・OG会は会員30名の参加で3年ぶりに定時総会と懇親会を開催しました。

県下のコロナ感染者数が徐々に増加する中、感染予防対策は会場のパレス担当者とも十分な打ち合わせと連携を取り、万全を期して開催しました。総会は2021年度の事業報告と決算、2022年度の事業計画と予算いずれの議案も原案どおり承認いただきました。

今年もこの総会時に、長寿祝の卒寿、米寿、傘寿、喜寿を迎えられた10名の先輩に記念品の贈呈。その後、愛知陸協稲垣隆司会長の発声で乾杯、懇親会となりました。1テーブル4名席で十分な間隔を取っての会席でしたが、久しぶりにお会いした皆さんと陸上談議に花が咲きました。最後に、集合写真撮影で解散となりました。

今後の活動について、9月の世話人会で確認した内容をご報告します。年度の事業計画では11月に秋の行事、1月下旬に新年懇親会となっていました。コロナ感染もまだ出口が見えない状況でこれらの行事を延期、2月に岡崎方面で日帰りの「観光と昼食懇親会」を実施することとしました。詳細は後日ご案内をさせていただきます。一日も早く元の日常に戻ることを願うばかりです。

なお、OB・OG会では新入会員の募集をしております。入会ご希望の方は、以下の地区世話人までお問い合わせください。

- <名古屋> 國分 一郎 稲垣 裕 佐野 昭二  
小川真一郎 水野 久
- <尾張> 小島 末広 杉山 裕二
- <西三河> 竹川 正彦 中尾 洋一 石田美知枝
- <東三河> 鈴木 覚 加藤 春雄



2022年度総会後の集合写真

(水野 久)

競技会報告

第68回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会  
2022年7月9日(土)・10日(日) パロマ瑞穂公園北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (HK: 全国大会標準突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m	北村 聡祐 11.88 祖父江中	齋藤 大和 12.19 豊正中	下村 咲翔 12.36 春日井中部
2年100m	横山 蓮音 11.58 高橋中	前田 爽陽 11.76 桜田中	杉山 惇人 11.76 東山中
3年100m	巻口 周平 11.14 HK 田原中	内藤 翔真 11.28 小坂井中	小野 真大 11.30 東山中
200m	内藤 翔真 22.55 HK 小坂井中	小島 譲 22.70 HK 佐織西中	小野 真大 23.09 東山中
400m	川添 蓮 52.19 岩津中	天願 凌大 52.58 佐屋中	山科 樹輝 52.82 豊橋南部中
800m	鈴木 太智 1:58.60 HK 東陽中	嶋 大雅 2:01.25 高豊中	中村 悠斗 2:02.84 碧南新川中
1500m	小倉 天心 4:02.18 HK 豊橋南陽中	菅野 紇之介 4:03.82 HK 大府北中	坂田 剛 4:04.92 HK 平坂中
1年1500m	松永 維吹 4:29.68 蟹江中	神谷 一希 4:33.18 雁が音中	伊藤 功太 4:34.99 水野中
3000m	鷺見龍之介 9:10.78 熊野中	伊藤 悠真 9:16.58 水野中	杉本 成空 9:17.52 尾西第一中
110mH (0.914m)	坂井 大一 14.64 HK 甚日寺中	藤田 唯央 15.05 福岡中	山口 竜世 15.34 西尾一色中
4×100mR	東山中 43.75 東 和 小野 真大 服部 仁弥 杉山 惇人	田原中 43.88 原田健太郎 巻口 周平 原田 悠暉 片桐 兜真	豊川東部中 44.91 鈴木 智也 小川翔之介 林 遼汰 木林 悠翔
走高跳	岡松 晴芽 1.79 古知野中	伊藤 望亜 1.76 宮田中	ムトクラクアルファレイ 1.73 牧の池中
棒高跳	真島 達希 3.20 宮田中	小塚 透哉 3.20 当知中	岩田 結翔 3.00 竜海中
走幅跳	森川 陽介 6.63 HK 安城南中	山田 悠世 6.55 HK 御幸山中	藤田 唯央 6.54 福岡中
砲丸投 (5.000kg)	佐藤 美波 12.07 大口中	山口 暁士 11.68 大高中	濱崎 永遠 11.31 豊岡中
四種競技	坂井 大一 2590 HK 甚日寺中	高島 悠生 2170 水無瀬中	脇島 拓来 1994 成岩中

女子 (3位入賞のみ) (HK: 全国大会標準突破)

種目	1位	2位	3位
1年100m	八代 理衣 13.05 高橋中	祖父江亜希夏 13.10 萩原中	平岩 夕季 13.17 守山中
2年100m	佐藤 那有 12.61 田原東部中	高崎 生愛 12.71 治郎丸中	布施 一葉 12.88 高豊中
3年100m	坂本 茜 12.38 HK 大府西中	今井美莉亜 12.51 HK 美和中	時任 陽菜 12.67 東山中
200m	布施 一葉 25.59 HK 高豊中	佐藤 那有 26.04 田原東部中	米津 海理 26.21 安城北中
800m	村松 杏音 2:18.70 豊橋南部中	富澤 茉那 2:18.72 甲山中	佐藤 里帆 2:19.78 前林中
1500m	杉浦 華夏 4:33.44 HK 西端中	高橋 沙綾 4:38.48 刈谷南中	松本 紗直 4:43.47 長久手中
100mH (0.762m)	平塚 玲音 14.48 HK 岡崎東海中	井坂 優里 14.52 HK 長久手南中	岡本 彩里 14.86 旭中
4×100mR	日進西中 50.06 今浦 彩葉 浅井 三奈 栢 美琴 崎下ゆづき	安城西中 50.21 水谷 悠那 佐野 日香 田中 咲有 山本 遥	古知野中 50.44 滝 双葉 小椋 千智 藤村 優有 中西 麻友

走高跳	今浦 彩葉 1.57 日進中	鍵谷 優羽 1.54 桜田中	鏡味 あい 1.54 知立中
棒高跳	仙田 雪乃 2.60 前津中	一安 結叶 2.40 平坂中	中馬 朱俐 2.30 当知中
走幅跳	ダニエックシドニー 5.17 刈谷南中	糟谷 朋葉 5.17 福江中	赤川 恭音 5.09 猿投中
砲丸投 (2.721kg)	片岡 真緒 11.31 桜田中	稲垣 妃蘭 11.05 藤森中	新開 愛純 11.01 六ツ美北中
四種競技	井坂 優里 2844 HK 長久手南中	平塚 玲音 2660 HK 岡崎東海中	間瀬 奏波 2483 幸田南中

1500m	近藤 亨 3.50.99 明治大	大山幸志郎 3.53.22 I.A.R.C	竹内啓一郎 3.53.93 愛知陸協
110mH (1.067m)	岩堀 剛己 14.17 同志社大	田原 佳悟 14.37 立命館大	角田 涼一 14.70 TNP
400mH (0.914m)	伊奈 颯太 50.67 城西大	小川 大輝 50.88 東洋大	小田 将矢 51.05 豊田自動織機
5000mW	大島 涼賀 21.54.97 名古屋大	磯部 太一 22.19.34 愛知陸協	梅本 崇弘 22.23.70 名古屋大
4×400mR	安城学園高 3.16.38 吉野 朱祐 福井 篤輝 万前 瑞葵 鳥居 大隼	愛教大名古屋 3.16.51 天野 知哉 中山 聖 跡見 俊明 山田 祐輔	東海学園大学 3.16.78 松枝 久史 倉地 貴也 高畑 永遠 尾張 龍希
走高跳	道脇 大斗 2.10 OBU エニスポ	宇野琳太郎 2.07 中京大	松下 陸 2.04 名古屋大 槽谷 隆明 2.04 CHUKYOSPIRITS
棒高跳	小木曾 光 5.20 筑波大	松嶋 愛太 4.80 中京大	水谷 翼 4.80 福岡大
走幅跳	高野 恭平 7.65 愛知陸協	中野 裕仁 7.40 日大	梅谷 太紀 7.36 中京大
三段跳	加藤 隼輝 14.68 中京大	稲田 大空 14.36 東海学園大	鈴木 颯人 14.10 山梨学院大
砲丸投 (7.260kg)	石井 健史 15.20 三菱重工名古屋	戸澤 廣哉 15.01 岡崎 TFC	原 維近 13.84 岐阜協立大
円盤投 (2.000kg)	湯上 剛輝 58.49 GR トヨタ自動車	久保 博規 45.88 名学院クラブ	伊藤 蒼真 44.98 中京大
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 71.22 小林クリエイト	鈴木健太郎 61.18 中京大	中野 峻作 59.86 岐阜協立大
やり投 (0.800kg)	坂本 達哉 79.11 GR T-LABO	八木 一憲 69.81 みかん山	牧野 快士 68.37 T-LABO
最優秀選手	湯上 剛輝 トヨタ自動車		

**愛知パラ陸上競技フェスティバル**  
2022年7月10日(日) いちい信金スポーツセンター

(日本記録のみ) (大会新は 46)

種目	氏名	所属	記録
女子砲丸投げ (F20)	堀 玲那	STEP UP	12.40
女子 800m (T47)	土屋 真優	愛知淑徳高	3.11.51
女子 100m (ダウン)	山本 汐音	堺ファインズ	16.10

**第82回愛知陸上競技選手権大会**

2022年7月16日(土)・17日(日) パロマ瑞穂公園北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	河田 航典 10.21 GR 立教大	伊藤 弘大 10.36 GR 至学館大	小島 拓真 10.53 名古屋大谷高
200m	伊藤 弘大 21.08 至学館大	館野 峻輝 21.35 東洋大	鈴木 大河 21.36 日大
400m	萩原 拓斗 47.35 東洋大	小川 大輝 47.42 東洋大	新垣 颯斗 48.16 東洋大
800m	樋口 諒 1.53.82 一宮高	鹿居 二郎 1.54.33 Astray	川村 航太 1.55.61 TTランナーズ

陸上競技場めぐり⑱

豊田陸上競技場

① 3種公認競技場としての再スタート

2022年2月の検定を経て、3種公認の競技場としての再スタートを切りました。最寄りの三河御船駅をはじめとした三河線の廃線に象徴されるように、近年では利用の機会が少なくなった競技場かもしれません。かつては豊田マラソンの開催やJリーグの開催が見られたもので、大いに盛り上がったことを懐かしく思います。



元気に練習する豊田高校の選手たち 改修のおかげで走りやすくなったトラック



② 歴史

昭和55年、豊田市の運動公園都市計画に基づいて整備が決まりました。その後、多くの方々の努力の甲斐あって62年に陸上競技場がオープンしました。当時はそれほど一般的ではなかったと思われる、全天候型のトラックを設置していただいたことに先見の明を感じます。平成に入ってから豊田マラソンのコースを引き受け、コースが変更された平成の末まで豊田市民の健脚を支えてくれました。平成の初期では天皇杯全日本サッカー選手権が開かれるなど、豊田市民にとってはトップクラスのスポーツを見られる大事な場所でありました。

③ 現在

運動公園が現在でも市民がスポーツに親しめる場であることに変わりはありません。西三河地区には豊田を含めて5つの競技場が存在するため、近年では競技会場になることが少なくなりました。しかし1周400mの8コース、直走路150m、フィールドは全てが天然芝です。選手の待機場所も十分と現在でも申し分のない施設です。この競技場が今後ともスポーツを愛する人々を支え、さらには未来のオリンピック選手をも育てていける場であることを切に望みます。

④ 最後に

豊田市民にとって、初めて訪れた競技場がここであったという方は少なくありません。取材に訪れた当日も豊田高校をはじめとした地元の高校生が元気に練習に励んでおりました。最後に、この素晴らしい施設を維持するために常駐で管理されているスタッフの方々に感謝を述べて紹介を終わらせていただきます。

(村瀬 義彦)

女子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録)

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 100mH, 400mH, 5000mW, 4x400mR, 走高跳, 棒高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, 最優秀選手.

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 1年 1500m, 2年 1500m, 3年 1500m, 3000m, 110mH, 4x100mR, 低学年 4x100mR, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投, OP 四種競技, 総合.

女子 (3位入賞のみ) (HK:全国大会標準突破)

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 1年 100m, 2年 100m, 3年 100m, 200m, 1年 800m, 800m, 1500m, 100mH, 4x100mR.

第76回愛知県中学校総合体育大会 2022年7月24日(日)・25日(月) パロマ瑞穂公園北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録 HK:全国大会標準突破)

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 1年 100m, 2年 100m, 3年 100m, 200m, 400m, 800m.

低学年 4×100mR	大口中 51.74 大膳 結愛 長屋 心 近藤 亜麻 仙石 理琴	神の倉中 51.86 杉原 奈緒 鈴木 暖奈 中田 陽依 林 緒美	朝日丘中 52.30 松井 更紗 伊藤 凜心 時吉 愛葵 池上陽菜子
	走高跳	今浦 彩葉 1.58 日進西中	鍵谷 優羽 1.54 桜田中
走幅跳	糟谷 朋葉 5.36 福江中	ダニエック シドニー 5.31 刈谷南中	赤川 恭音 5.30 猿投中
砲丸投 (2.721kg)	稲垣 妃蘭 11.78 藤森中	藤枝 樹里 11.34 猪高中	清水 那奈 11.33 東浦北部中
OP 四種競技	新開 愛純 2539 六ツ美北中	間瀬 奏波 2488 幸田南部中	渡邊 紗希 2216 大曽根中
総合	安城西中 24	六ツ美北中 16	猪高中 15

**2022 東海学生陸上競技夏季大会**  
2022年7月31日(日)・8月1日(月) マルヤス岡崎龍北スタジアム

男子 (本県1位のみ) (GR:大会記録)

種目	氏名	所属	記録
200m	松枝 久史	東海学園大	21.95
400m	尾張 龍希	東海学園大	49.27
800m	鮎川 翔	日本福祉大	1.51.61 GR
1500m	荻谷真之介	愛知工業大	3.57.99
走高跳	松下 陸	名古屋大	2.13
走高跳	市村 祥太	愛知学院大	1.90
棒高跳	谷口 柊斗	中京大	4.80

女子 (本県1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	須崎 心優	中京大	12.65
200m	溝口 岬希	東海学園大	25.13
400m	近藤 七海	至学館大	57.18
800m	渡邊 由夏	東海学園大	2.22.62
1500m	永谷 千宙	日本福祉大	4.40.70
100mH (0.833m/8.50m)	林 玲奈	東海学園大	15.03
400mH (0.762m)	西川ひより	東海学園大	1.02.63
走高跳	神谷 京奈	東海学園大	1.63

**令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会**  
2022年8月3日(水)~7日(日) 鳴門・大塚スポーツパーク

男子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	4	小島 拓真	名古屋大谷	10.57
400m	7	小島 颯太	岡崎城西	48.68
800m	8	山田 直希	中京大中京	1.53.58
4×100mR	3	香山 勇輝 高橋 大地 向井 悠汰 龟山 祥吾	中京大中京	40.29
走高跳	5	加古 彩人	中京大中京	2.06

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	藏重 みう	中京大中京	11.85
	4	小松このみ	安城学園	12.03
200m	5	藏重 みう	中京大中京	24.74
	6	小松このみ	安城学園	24.75
400m	8	平野 里歩	中京大中京	56.29
800m	6	森 千莉	豊田大谷	2.10.79
100mH(0.833m)	1	林 美希	中京大中京	13.65
400mH(0.762m)	5	夏目 紗彩	豊川	1.00.81
5000mW	3	足立 真唯	明和	23.47.71
4×100mR	1	片山 心菜 秋月 涼子 前田 紗希 藏重 みう	中京大中京	45.42
4×400mR	2	中澤 愛菜 平野 里歩 和佐田 真広 藏重 みう	中京大中京	3.44.97
走高跳	8	矢野 夏希	時習館	1.70
走幅跳	1	松村 琴都	瑞陵	5.93
円盤投 (1.000kg)	7	伊藤 圭菜	至学館	38.87
ハンマー投 (4.000kg)	8	小原 恵	名古屋大谷	48.49
やり投 (0.600kg)	3	堤 陽菜	名古屋大谷	49.15
七種競技	1	林 美希	中京大中京	5231
総合得点	1	中京大中京 44点		
トラック得点	1	中京大中京 36点		
フィールド得点	8	瑞陵 8点		
七種総合得点	1	中京大中京 8点		
最優秀選手女子	優勝	100mH・七種競技 林 美希 中京大中京		
女子都道府県 対抗得点	1	愛知 82.5点		

**第44回東海中学校総合体育大会**  
2022年8月8日(月) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
1年 100m	2	北村 聡祐	祖父江中	11.95
	3	星野 月音	田原東部中	12.16
3年 100m	1	巻口 周平	田原中	10.96
200m	1	内藤 翔真	小坂井中	22.50
	3	木林 悠翔	豊川東部中	22.80
800m	1	鈴木 太智	東陽中	1.56.81
	2	小倉 天心	豊橋南陽中	1.57.13
2年 1500m	2	渡邊 兼亘	猪高中	4.13.50
3年 1500m	1	坂田 剛	平坂中	4.04.07
	3	横畑 僚大	青陵中	4.09.09

低学年 4×100m	1	村瀬 涼太 木本 愛己 西尾 翔太 西尾 健汰	古知野中	46.34
	2	前田 爽陽 堀 天人 古森 大虎 安藤 太一	桜田中	46.71
4×100m	1	東 和 小野 真仁 服部 弥 杉山 惇人	東山中	43.70
	2	松井 天佑 巻口 周平 原田 悠暉 片桐 兜真	田原中	44.07
走高跳	3	伊藤 望亜	宮田中	1.85
走幅跳	1	森川 陽介	安城南中	6.66
砲丸投 (5.000kg)	1	佐藤 美波	大口中	12.88

女子 (本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
1年100m	1	平岩 夕季	守山中	13.04
	2	八代 理衣	高橋中	13.07
2年100m	1	高崎 生愛	治郎丸中	12.48
	2	佐藤 那有	田原東部中	12.55
	3	大野 世奈	川名中	12.76
3年100m	3	坂本 茜	大府西中	12.37
200m	2	布施 一葉	高豊中	25.37
800m	3	宇野莉里杏	篠目中	2.15.95
1500m	2	杉浦 華夏	西端中	4.38.77
100mH (0.762m)	2	岡本 彩里	旭中	14.51
	3	井坂 優里	長久手南中	14.53
低学年 4×100m	1	石原 花恋 安保 芹菜 伊藤 弥生 中野 那海	御幸山中	52.23
4×100m	2	水谷 悠那 佐野 日香 田中 咲有 山本 遥	安城西中	49.72
	3	今浦 彩葉 浅井 三奈 栢 美琴 崎下 ゆづき	日進西中	49.99
走高跳	1	鍵谷 優羽	桜田中	1.60
走幅跳	2	槽谷 朋葉	福江中	5.29

第49回全日本中学校陸上競技選手権大会  
2022年8月18日(木)~21日(日) とうほう・みんなのスタジアム

(本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
男子200m	6	木林 悠翔	豊川東部	22.58
男子800m	1	鈴木 太智	東陽	1.55.20
	2	小倉 天心	豊橋南陽	1.56.55
女子四種競技	5	井坂 優里	長久手南	2841

第8回東海小学生陸上競技大会  
2022年8月20日(土)三重交通Gスポーツの社伊勢陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
5年100m	1	平岩 陸斗	安城JAC	13.33 GR
	2	坂川 舜	AC一宮Kids	13.42 GR
6年100m	1	林 壕汰	FKN陸上クラブ	12.75
	2	北村早千都	Spirits	12.75
コンバインド A	1	駒月 志成	豊川AC	12.92
	2	高橋 叶真	成岩SC陸上	2333
コンバインド B	1	矢田 獅温	TSM岡崎	2183
	2	岩淵聡一郎	AC一宮Kids	2071
コンバインド B	1	両角 公位	OBUEニスポ	2040
	3	高井 智哉	JAC武豊	2033

女子 (3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
6年100m	3	加藤 光桜	豊橋陸上クラブ	13.62
コンバインド A	3	樋口 奈美	TSM	1995
コンバインド B	1	白滝 明彩	東浦AC	1817
	2	新屋 美貴	大須AC	1779
	3	小嶋くるみ	大須AC	1764

混合 (3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
混合 4×100mR	1	松山 璃々 山下 乃々葉 山下 湊 奥田 恭介	トライルAC	52.76
	2	松本 実々 宮崎 蒼空 竹本 沙良 岡田 修実	安城JAC	53.13
	3	小西 さくら 上出 舞華 野村 壮太郎 古川 煌良	TSM	53.16

第65回東海陸上競技選手権大会  
2022年8月20日(土)・21日(日) 三重交通Gスポーツの社伊勢陸上競技場

男子 (本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	河田 航典	立教大	10.33
	3	山田 佑輔	小島プレス	10.51
200m	1	伊藤 弘大	至学館大	20.97
400m	1	松枝 久史	東海学園大	48.50
	2	酒井 佑弥	立命館大	49.06
800m	2	鹿居 二郎	Astray	1.52.81
	3	山田 直希	中京大中京高	1.54.02
1500m	2	大山幸志郎	I.A.R.C	3.55.62
110mH	2	田原 佳悟	立命館大	14.28
400mH	1	小田 将矢	豊田自動織機	51.20
	2	田原 佳悟	立命館大	51.37
3000mSC	1	木村 将成	愛知教育大	9.20.59

5000mW	1	磯部 太一	愛知陸協	22.01.14
	3	大島 涼賀	名古屋大	22.14.19
4×100mR	1	野村 勇輝 若杉 俊佑 服部 辰也 山田 佑輔	小島プレス	40.19
	2	西川 原友輝 本郷 汰樹 鳥居 青矢 山本 悠生	名古屋大	40.54
走高跳	3	糟谷 隆明	CHUKYOSPIRITS	2.05
走幅跳	1	高野 恭平	愛知陸協	7.74
円盤投	1	湯上 剛輝	トヨタ自動車	56.09
やり投	2	八木 一憲	みかん山	69.39

女子 (本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	大城 珠莉	至学館大	11.81
	2	蟹江璃彩子	中京大	11.92
200m	2	大城 珠莉	至学館大	24.70
400m	1	平野 里歩	中京大中京高	55.21
	2	森 千莉	豊田大谷高	55.92
800m	1	森 千莉	豊田大谷高	2.10.34
	3	相場 茉奈	豊橋南高	2.12.68
1500m	2	山下美智乃	安城学園高	4.27.67
	3	相場 茉奈	豊橋南高	4.36.18
5000m	2	山口 紋奈	光ヶ丘女子高	17.32.60
	3	坂田 朋花	安城学園高	17.34.58
100mH	1	大松 由季	愛教大クラブ名古屋	13.69
	2	安藤 愛未	至学館大	13.84
	3	林 美希	中京大中京高	14.05
400mH	2	和佐田真広	中京大中京高	1.00.90
3000mSC	1	服部 七子	同志社大	11.07.37
	2	谷口 晴菜	岡崎城西高	11.31.05
5000mW	1	上森 佳代	中京大	23.51.50
4×400mR	1	森 那帆 和佐田真広 中野 知咲 平野 里歩	中京大中京高	3.48.64
	3	熊谷 実華 小酒井結菜 小原すずか 森山 夢菜	時習館高	3.55.95
走高跳	1	神谷 京奈	東海学園大	1.65
棒高跳	3	篠崎 稔里	至学館大	3.80
	3	所 杏子	ラフィネ陸上部	3.80
三段跳	3	浅野紗弥香	東海学園 TC	12.11
円盤投	2	徳岡 沙織	WAVE	42.14
ハンマー投	3	中嶋日向子	中京大	53.45
やり投	2	辻 萌々子	九州共立大	53.74
	3	石垣 綾香	中京大	52.66

第43回愛知県ジュニアオリンピック  
2022年9月3日(土)パロマ瑞穂公園北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (PJH:愛知中学記録)

種目	1位	2位	3位
100m	巻口 周平 11.29 田原中	中島 悠太 11.53 TSM	北野 佳貴 11.59 長久手中
1年100m	山本 翔太 12.37 古知野中	加藤 遼大 12.47 へき陸ジュニア	初田 隼 12.53 矢田中
2年100m	杉山 惇人 11.68 東山中	遠村 竜斗 11.69 JSC	今泉 成聖 11.81 小坂井中
145m	内藤 翔真 16.08 小坂井中	木林 悠翔 16.37 豊川東部中	小島 讓 16.53 尾張ランスター
1000m	鈴木 太智 2.32.37 PJH 東陽中	横畑 僚大 2.36.99 青陵中	福井 慧大 2.38.33 豊明中
3000m	坂田 剛 8.59.19 平坂中	和田 剛 9.06.23 愛知陸協	伊藤 颯汰 9.09.40 矢作北中
110mH (0.991m)	坂井 大一 15.58 TSM	小川 倅周 15.61 青陵中	樋口 諒 16.10 TSM
走高跳	伊藤 望亜 1.83 宮田中	岡松 晴芽 1.80 古知野中	向井 ビニシウス 1.75 豊橋東部中
棒高跳	谷口 海斗 4.40 中京大中京高	久世 優壘 3.80 大須 AC	沼野 靖生 3.60 古知野中
走幅跳	森川 陽介 6.42 安城南中	成田 俐士 6.21 大須 AC	伊藤 瑚虎 6.06 大治中
三段跳	中村 光希 13.92 名城大附高	荻野 斗駿 13.26 竜南中	角田 知優 12.50 岡崎北中
砲丸投 (5.000kg)	山口 暁士 12.19 大高中	濱崎 永遠 11.74 豊岡中	石坂 巧真 11.72 宮田中
円盤投 (1.500kg)	生森 直希 34.81 名古屋大谷高	今村 桂也 34.07 中京大中京高	佐藤 美波 32.17 大口中
ジャベリック スロー (0.300kg)	前田 樹輝 63.96 御幸山中	鹿間 大聖 59.94 北山中	加藤 建都 57.89 御幸山中

女子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
100m	坂本 茜 12.56 大府西中	今井美莉亜 12.74 AC-宮Junior	山本 遥 12.78 安城 JY
1年100m	八代 理衣 13.17 高橋中	平岩 夕季 13.26 守山中	和佐田るい 13.55 ハイテク AC
2年100m	吉田 名歩 13.08 大治中	藤本有希奈 13.28 大治中	原 さくら 13.34 AC-宮Junior
145m	布施 一葉 18.19 高豊中	高崎 生愛 18.41 稲沢 ACJ	佐藤 那有 18.55 田原東部中
1000m	杉浦 華夏 2.56.73 愛知陸協	宇野莉里杏 2.57.34 愛知陸協	富澤 茉那 3.00.48 甲山中
3000m	渡邊 真瑚 10.21.19 YRC	渡辺 愛来 10.28.77 六ツ美北中	馬場 虹羽 10.33.82 AC-宮Junior
100mYH (0.762m)	大和 令奈 14.52 岡崎城西高	平塚 玲音 15.00 岡崎東海中	岡本 彩里 15.05 TSM
走高跳	井坂 優里 1.60 TSM	鍵谷 優羽 1.55 桜田中	横田乙都音 1.50 石巻中
			今浦 彩葉 1.50 日進西中
棒高跳	禰冨田美奈 2.90 平坂中	仙田 雪乃 2.40 前津中	武内 寧々 2.20 AC-宮Junior
			中馬 朱俐 2.20 当知中
走幅跳	赤川 恭音 5.31 ハイテク AC	糟谷 朋葉 5.17 福江中	島田 愛華 2.20 守山西中
			伊藤 里桜 5.03 大須 AC
三段跳	近藤 愛 11.19 甲山中	平野 星 10.72 当知中	三浦 蜜華 10.64 中京大中京高
砲丸投 (2.721kg)	新開 愛純 11.62 六ツ美北中	青柳 梓紗 10.82 大高中	磯部友里亜 10.70 愛知淑徳中

円盤投 (1.000kg)	伏木 杏莉 30.55 東山中	紀國 佑香 28.10 TSM	船水 琴未 25.43 TSM
ジャベリック スロー (0.300kg)	原 悠華 43.48 長久手北中	下山 玲乃 41.19 大口中	佐々木凜娃 41.19 猿投台中

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会  
2022年9月24日(土)・25日(日) マルヤス岡崎龍北スタジアム

男子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
100m	石川 智基 10.82 愛工大名電	向井 悠汰 10.84 中京大中京	寺下 頼檜 10.91 豊川
200m	向井 悠汰 22.03 中京大中京	石川 智基 22.16 愛工大名電	寺下 頼檜 22.36 豊川
400m	加藤 正清 48.01 至学館	久田 凌大 48.56 桜丘	月野カイキ 48.84 豊川工科
800m	宮下 颯汰 1.54.91 中京大中京	畑村 侑彦 1.55.93 中京大中京	水野 瑛人 1.56.14 春日井
1500m	相地 一夢 4.04.04 豊川	杉田 晃大 4.04.79 豊川	原 一成 4.06.67 豊田大谷
5000m	石濱 創志 14.59.23 名経大高蔵	野川 元希 15.05.58 愛知	蟹江 隼永 15.09.41 豊川
110mH (1.067m/9.14m)	横山 将也 14.60 中京大中京	西垣 俐玖 14.96 中京大中京	駒井 菖瑛 15.07 中京大中京
400mH (0.914m)	鈴木 哉汰 54.00 名古屋大谷	駒井 菖瑛 54.24 中京大中京	西垣 俐玖 54.73 中京大中京
3000mSC	鈴木 陸覇 9.38.58 名経大高蔵	吉田 龍海 9.39.88 岡崎城西	山本 優晟 9.40.49 豊田大谷
5000mW	前原 凌 24.43.99 愛産大三河	船本 賢伸 25.01.29 愛工大名電	永山 大志 25.44.01 豊明
4×100mR	愛工大名電 42.09 谷口 瑠昊 石川 智基 鶴賀 康太 川村 昂大	三好 42.13 ペニーラアンドルウ 西屋 太雅 原 壮輝 日高 嘉恩	昭和 42.26 林 巧真 林 誠太 田中 駿成 林 大地
4×400mR	至学館 3.19.05 阪野 颯音 鈴木 蒼生 立浦 祥維 加藤 正清	愛工大名電 3.19.67 粟井 丈 鶴賀 康太 前島 和歩 石川 智基	桜丘 3.19.85 鎌戸 煌大 田中 仁識 足立光太郎 久田 凌大
走高跳	加古 彩人 1.90 中京大中京	近藤準之助 1.90 岡崎北	天方 尚太 1.90 豊橋西
棒高跳	谷口 海斗 4.50 中京大中京	久世 優空 4.50 中京大中京	永岩 直也 4.10 小牧工科
走幅跳	谷口 瑠昊 6.88 愛工大名電	市橋 拓海 6.82 春日井	田子山恭介 6.76 星城
三段跳	中村 光希 13.69 名城大附	安江 千岳 13.51 長久手	岡村 優真 13.34 富田
砲丸投 (6.000kg)	兵藤 拓郎 15.36 名古屋大谷	尾崎 涼 14.28 三好	柳 勇次 13.80 誠信
円盤投 (1.750kg)	根本 睦千 44.18 GR 名古屋西	柳 勇次 39.80 誠信	兵藤 拓郎 39.15 名古屋大谷
ハンマー投 (6.000kg)	市原 想太 54.98 愛西工科	皆川 朋輝 52.03 三好	河本 雅崇 51.26 名古屋大谷
やり投 (800g)	松野 然 51.25 愛産大工	杉浦 青空 50.66 西尾東	佐橋 遼真 48.90 名古屋南
総合	中京大中京 70.5点	愛工大名電 33点	豊川 26点
トラックの部	中京大中京 49点	愛工大名電 27点	豊川 26点
フィールドの部	中京大中京 21.5点	名古屋大谷 19点	三好 10点

女子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	秋月 涼子 12.09 中京大中京	眞田 あこ 12.13 豊橋南	岡田 翠 12.26 中京大中京
200m	眞田 あこ 25.03 豊橋南	佐藤 俐有 25.31 至学館	鈴木 虹葉 25.41 至学館
400m	平野 里歩 54.90 GR 中京大中京	中澤 愛菜 57.30 中京大中京	市川 真帆 57.37 西春

第91回日本学生陸上競技対校選手権大会  
2022年9月9日(金)~11日(日)たけびしスタジアム京都

男子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
400m	6	竹内 彰基	早稲田大	47.36
1500m	3	中野 倫希	中央大	3.46.23
	5	近藤 亨	明治大	3.47.00
5000m	1	近藤幸太郎	青山学院大	13.50.37

女子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
800m	6	川島 実桜	筑波大	2.09.30
5000m	1	山本 有真	名城大	16.10.17
やり投 (0.600kg)	2	辻 萌々子	九州共立大	54.62
七種競技	1	田中 友梨	至学館大	5506

第70回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会  
2022年9月23日(金)~25日(日)岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
10000m	6	エバンス ケイタニー	トヨタ紡織	27.44.10
3000mSC (0.914m)	1	フレモン キブラガット	愛三工業	8.30.18
	3	山口 浩勢	愛三工業	8.37.63
10000mW	2	丸尾 知司	愛知製鋼	39.05.73
4×100mR	2	野村 勇輝 若杉 俊佑 服部 辰也 山田 佑輔	小島プレス	40.57
円盤投 (2.000kg)	1	湯上 剛輝	トヨタ自動車	57.08
ハンマー投 (7.260kg)	2	墨 訓熙	小林クリエイト	68.47
やり投 (0.800kg)	5	坂本 達哉	修文大学教	77.77

女子 (本県6位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
800m	3	後藤 夢	豊田自動織機	2.05.14
1500m	1	田中 希実	豊田自動織機	4.10.41 GR
	3	後藤 夢	豊田自動織機	4.12.97
5000m	2	田中 希実	豊田自動織機	14.58.60
	5	ヘレン エカラレ	豊田自動織機	15.08.74
100mH (0.838m)	5	大松 由季	エリアワン	13.25
4×100mR	4	加藤 早紀 新木 詩乃 中尾 優里 猪岡 真帆	小島プレス	47.96
棒高跳	2	所 杏子	ラフィネ	4.00
三段跳	5	浅野紗弥香	東郷町施設サービス	12.42

800m	平野 里歩 2.14.41 中京大中京	林 彩夢 2.14.83 岡崎城西	小原すずか 2.15.65 時習館
1500m	林 彩夢 4.32.19 岡崎城西	森 千莉 4.33.49 豊田大谷	梅村 茉那 4.33.87 旭野
3000m	火山 華 9.57.87 安城学園	坂田 朋花 10.00.05 安城学園	梅村 茉那 10.02.05 旭野
100mH (0.838m/8.50m)	林 美希 13.84 GR 中京大中京	片山 心菜 14.09 中京大中京	長野 沙弥 14.39 岡崎北
400mH (0.762m)	松村 琴都 1.02.84 瑞陵	片山 心菜 1.03.19 中京大中京	杉藤 葵 1.04.77 中京大中京
5000mW	寺本 瑛美 25.21.96 旭丘	塚本帆乃花 25.36.81 旭野	織田 晃帆 26.07.62 瑞陵
4 × 100mR	至学館 46.72 GR	中京大中京 47.63	時習館 47.91
	谷口 花妃 鈴木 虹葉 鈴木 愛菜 佐藤 俐有	宮田 愛結 平野 里歩 中澤 愛菜 岡田 翠	河合くるみ 津川 愛依 高津 采里 橋本真結子
4 × 400mR	中京大中京 3.50.83	至学館 3.54.97	瑞陵 3:56.49
	片山 心菜 中澤 愛菜 江藤 柚葉 平野 里歩	鈴木 咲葉 鈴木 虹葉 立澤 理乃 金森 比那	近藤 千聖 杉江 優愛 森田 真暢 松村 琴都
走高跳	林 美希 1.64 中京大中京	太田 結愛 1.58 中京大中京	北林 優奈 1.55 岡崎城西
			鰐部 茜 1.55 横須賀
棒高跳	岡部 陽奈 3.00 岡崎	安井 叶夢 2.90 豊川	村田 実由 2.80 中京大中京
走幅跳	松村 琴都 5.82 瑞陵	寺島 慶 5.62 愛工大名電	渡辺実優花 5.59 名城大附
三段跳	渡辺実優花 11.35 名城大附	仙石 華子 11.13 安城学園	酒井 菜胡 11.00 安城学園
砲丸投 (4.000kg)	山田 真央 12.24 安城学園	平岩 里彩 11.42 至学館	木下みなみ 10.98 安城学園
円盤投 (1.000kg)	安藤瑞七海 35.88 三好	岩田明樺梨 33.24 至学館	津田 麗乃 32.68 瀬戸西
ハンマー投 (4.000kg)	川本菜々香 48.19 GR 三好	小島日依梨 43.65 名古屋大谷	佐々木安里 42.88 名古屋大谷
やり投 (600g)	成田 沙穂 45.51 中京大中京	細貝 美桜 44.17 向陽	鈴木きょうこ 43.16 安城学園
総合	中京大中京 94点	至学館 42.5点	安城学園 40点
トラックの部	中京大中京 64点	至学館 29点	岡崎城西 17点
フィールドの部	中京大中京 30点	安城学園 26点	三好 14点

**第23回中部実業団陸上競技選手権大会**  
2022年10月8日(土)・9日(日)多治見市運動公園星ヶ台競技場

男子 (本県3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	2	山田 佑輔	小島プレス	10.62
800m	1	西山 皓基	I.A.R.C	1.56.52
	2	市川 佑平	田原中教員	1.56.91
	3	伊藤理久也	I.A.R.C	1.57.59
1500m	3	西山 皓基	I.A.R.C	4.01.32
5000m	1	井上 雄斗	志楽園福祉会	14.37.68
10000m	1	マルイマニエル	トヨタ紡織	27.33.67
	2	エバンスケイターニー	トヨタ紡織	27.40.26
	3	ビダン カロキ	トヨタ自動車	27.42.08
400mH(0.914m)	2	小田 将矢	豊田自動織機	53.31
5000mW	1	寺島 智春	豊田自動織機	23.28.78
	3	稲吉 悠多	至学館 AC	24.36.94
4 × 100m	2	千田 勇司 渡邊圭一郎 新城 健斗 家田 英幸	トヨタ自動車	41.52
走高跳	3	道脇 大斗	OBUEニスポ	2.03
円盤投 (2.000kg)	1	湯上 剛輝	トヨタ自動車	57.48
ハンマー投 (7.260kg)	2	墨 訓熙	小林クリエイト	68.82 GR
やり投 (0.800kg)	1	坂本 達哉	修文大学教	69.61
	3	牧野 快士	T-LABO	64.95

女子 (本県3位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	新木 詩乃	小島プレス	12.30
	3	中内 彩虹	東海学園 TC	12.58
200m	3	新垣 舞桜	トヨタ自動車	26.47
100mH (0.840m)	1	大松 由季	エリアワン	13.65
	2	新垣 舞桜	トヨタ自動車	14.92
	3	遠山 実希	トヨタ自動車	15.09
400mH (0.762m)	1	山口 朱音	トヨタ自動車	1.06.26
5000mW	1	高柳 百花	トヨタ自動車	28.32.11
走高跳	2	中島 梨里	豊田自動織機	1.45
走幅跳	2	中尾 優里	小島プレス	5.57
三段跳	1	浅野紗弥香	東郷町施設サービス	12.25
	3	糟谷 友里	小島プレス	11.92

**第106回日本陸上競技選手権リレー競技大会**  
2022年10月1日(土)・2日(日)国立競技場

種目	順位	記録	氏名	所属
女子選手権 4×400mR	予選2組3着 決勝7着	3.40.49 県高校新 3.41.49	中澤 愛菜 和佐田真広 中野 知咲 平野 里歩	中京大中京高校
男子 U16 4×100mR	決勝6着	41.81	中島 悠太 巻口 周平 内藤 翔真 小野 真大	愛知県代表
女子 U16 4×100mR	予選4組3着	47.59	佐藤 那有 坂本 陽菜 時任 遥 山本	愛知県代表

**2022年度第1回駅伝強化長距離競技**  
2022年10月8日(土)パロマ瑞穂北陸上競技場

(1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
中学男子 3000m	鷺見龍之介	熊野中	8.59.71
男子 5000m	吉田 慶哉	ぬまちゃんず	15.01.10
男子 10000m	吉田 椋哉	愛知工大	31.09.14
女子 3000m	近江 衿香	TTランナーズ	9.45.71
女子 5000m	横山友里乃	ランコレ	17.17.91

**2022投てき競技会**  
2022年10月8日(土)パロマ瑞穂北陸上競技場

(1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
中学男子砲丸投 (4.000kg)	神戸 佑太	長久手北中	8.07
高校男子砲丸投 (6.000kg)	兵藤 拓郎	名古屋大谷高	14.81
高校男子円盤投 (1.750kg)	根本 睦千	名古屋西高	43.81
高校男子ハンマー投 (6.000kg)	市原 想太	愛西工科高	52.59
高校男子やり投 (0.800kg)	市原 想太	愛西工科高	52.59
中学女子砲丸投 (2.721kg)	青松 牙華	大須 AC	7.44
高校女子砲丸投 (4.000kg)	木下みなみ	安城学園高	10.14
高校女子円盤投 (1.000kg)	津田 麗乃	瀬戸西高	34.39
高校女子ハンマー投 (4.000kg)	川本菜々香	三好高	44.34
高校女子やり投 (0.600kg)	鈴木きょうこ	安城学園高	40.73

**令和4年度愛知県高等学校定時制通信制秋季陸上競技大会**  
2022年10月9日(日)物産フーズサイエンス1969知多スタジアム

男子 (1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	判家 悠也	豊橋昼	11.70
200m	判家 悠也	豊橋昼	23.47
400m	栗山 雄成	クラーク	54.50
800m	栗山 雄成	クラーク	2.16.65
1500m	田島凜汰朗	一宮起工	4.39.85
5000m	田村 珀英	科技刈谷	16.43.00
400mH (0.914m)	金子 凌空	科技刈谷	1.04.76
3000mSC	石井 晃永	科技刈谷	11.21.59
4 × 100mR	金子 凌空 加藤 友基 國枝 南斗 井上 貴翔	科技刈谷	46.83
4 × 400mR	岡 忍 金子 凌空 田村 珀英 今尾 宰人	科技刈谷	4.07.87
走幅跳	井上 貴翔	科技刈谷	5.95
三段跳	廣瀬 源	豊橋昼	11.02
砲丸投 (6.000Kg)	吉田 将隆	熱田	10.34
円盤投 (1.750Kg)	吉田 将隆	熱田	27.15
男子総合	科技刈谷		95点

女子 (1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	細野 乙芽	城北つばさ昼	13.84
200m	細野 乙芽	城北つばさ昼	29.82
400m	田口 貴子	科技刈谷	1.10.52

800m	田口 貴子	科技刈谷	2.41.65
3000m	石黒 志歩	科技刈谷	12.56.34
100mH (0.838m)	今泉 花音	刈谷東昼	19.08
4 × 100mR	杉下 凜 内山 もえ 田口 貴子 鈴木 萌生	科技刈谷	58.70
走高跳	長岡 せな	豊橋昼	1.30
走幅跳	鈴木 萌生	科技刈谷	4.50
砲丸投 (4.000kg)	奥村真理佳	城北つばさ昼	7.19
円盤投 (1.000kg)	長岡 せな	豊橋昼	20.76
女子総合	科技刈谷		57点

**JOCジュニアオリンピックカップ 第16回U18陸上競技大会**  
2022年10月21日(金)~23日(日)愛媛県総合運動公園陸上競技場

男子 (本県8位入賞まで)

種目	順位	氏名	所属	記録
300mA決勝	6	向井 悠汰	中京大中京	34.25
800m	3	樋口 諒	一宮	1.53.52
	6	宮下 颯汰	中京大中京	1.54.12
3000m	5	松井 寛翔	豊田大谷	8.24.28
110mH (0.991m/9.14m) A 決勝	5	横山 将也	中京大中京	14.02
走高跳	2	加古 彩人	中京大中京	2.07

女子 (本県8位入賞まで) (NYR: ユース日本記録 GR: 大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	8	秋月 涼子	中京大中京	12.36
800m	4	平野 里歩	中京大中京	2.07.94
	7	森 千莉	豊田大谷	2.14.42
	8	北村 はる	福祉大付	2.16.80
1500m	4	林 彩夢	岡崎城西	4.25.20
100mH (0.762m/8.50m) A 決勝	1	林 美希	中京大中京	13.32 NYR GR
300mH (0.762m/35.00m) A 決勝	3	松村 琴都	瑞陵	42.76
	8	片山 心菜	中京大中京	44.63
ハンマー投 (4.000kg)	3	川本菜々香	三好	49.23
	4	加藤 愛結	桜丘	46.83
	8	小島日依梨	名古屋大谷	45.46
やり投 (0.600kg)	4	堤 陽菜	名古屋大谷	47.59

**JOCジュニアオリンピックカップ 第53回U16陸上競技大会**  
2022年10月21日(金)~23日(日)愛媛県総合運動公園陸上競技場

男子 (本県8位入賞まで) (GR: 大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
150mA決勝	4	内藤 翔真	豊川小坂井	16.50
1000m	2	鈴木 太智	東陽	2.30.02 県中新
棒高跳	1	谷口 海斗	中京大中京	4.71 GR
三段跳	8	中村 光希	名城大附	13.31
ジャベリックスロー (0.300kg)	8	前田 樹輝	御幸山中	59.51

女子 (本県8位入賞まで)

種目	順位	氏名	所属	記録
100mA決勝	4	津川 愛依	時習館	12.25
150mA決勝	8	布施 一葉	豊橋高豊中	18.67
100mH (0.762m/8.50m) A決勝	2	大和 令奈	岡崎城西	13.98
砲丸投 (2.721kg)	7	木下みなみ	安城学園	13.76

「6冠」を達成

U18女子100mHを13秒32(+0.9)で優勝(U18日本新・大会新)した林美希選手(中京大中京高2)は、U20日本選手権とインターハイでそれぞれ100mHと七種競技の2冠を、国体少年A100mHの優勝に加え、今回の優勝で「6冠」を達成しました。



第4回愛知県中学生新人陸上競技大会  
2022年10月29日(土)パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
1年100m	北村 聡祐 11.64 稲沢 ACJ	星野 月音 11.74 田原東部中	岡部 光海 11.85 大府中
2年100m	遠村 竜斗 11.11 JSC	片桐 兜真 11.28 田原中	原田 悠暉 11.36 田原中
3年100m	内藤 翔真 10.82 小坂井中	木林 悠翔 10.91 豊川東部中	小野 真大 10.91 東山中
200m	杉山 惇人 23.14 東山中	今泉 成聖 23.35 小坂井中	今村 琉翔 23.52 東山中
400m	松葉 吉哉 53.58 大高中	古賀 悠透 53.59 前林中	福井 蹴斗 55.64 布袋中
800m	深津 輝瀧 2.09.46 武豊中	柳沢 陸斗 2.09.51 高師台中	村田 一真 2.10.54 吉田方中
1500m	渡邊 兼亘 4.23.79 猪高中	岡崎 大空 4.23.81 布袋中	神谷 一希 4.26.89 雁が音中
3000m	水野 悠希 9.32.08 大府西中	上村 泰輝 9.35.07 前林中	秋田 順哉 9.47.40 岡崎北中
110mH (0.914m)	権田 颯志 14.78 翔南中	許田 響 15.19 TSM 岡崎	宮上 純 15.45 朝日丘中
4×100mR	田原中 45.10 GR 原田健太郎 山口 音夜 原田 悠暉 片桐 兜真	東山中 45.58 上尾 碧月 今村 琉翔 杉山 惇人 藤原 敬大	前林中 45.86 鈴木 悠斗 前田 隼汰 古賀 悠透 近藤 祐伍
走高跳	松浦 悠真 1.70 南城中	鈴木 悠斗 1.70 前林中	内藤 樹 1.65 扇台中
棒高跳	広瀬 瑛士 3.60 GR 大府中	加藤 櫻大 3.50 GR 知多中	真島 達希 3.30 GR 宮田中

走幅跳	久野 巧 6.00 上郷中	坂 優作 5.97 東浦北部中	山口 音夜 5.85 田原中
砲丸投 (5.000kg)	佐藤 美波 13.04 大口中	山口 暁士 12.01 大高中	杉本 翔哉 11.73 守山中
円盤投 (1.500kg)	棚林 優太 32.93 GR 牧の池中	東川 太陽 28.73 GR 萩山中	藤井 勇介 27.07 保見中

女子 (3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
1年100m	八代 理衣 12.71 高橋中	平岩 夕季 12.77 守山中	和佐田るい 12.99 守山北中
2年100m	佐藤 那有 12.32 田原東部中	吉田 名歩 12.42 大治中	高崎 生愛 12.49 稲沢 ACJ
3年100m	坂本 茜 12.18 大府西中	三輪 琉姫 12.21 品野中	今井美莉亜 12.24 AC一宮Junior
200m	布施 一葉 25.53 高豊中	橋本 葉月 26.86 瀬戸南山中	小林 真綺 27.06 TSM
800m	江藤 杏奈 2.22.97 刈谷東中	前川 紡 2.25.76 田原中	齋藤ひより 2.27.06 吉良中
1500m	渡邊 真瑚 4.45.88 YRC	古川 蒼柊 4.50.85 阿久比中	伊藤 暖日 4.50.93 宮田中
100mH (0.762m)	間瀬 奏波 14.93 幸田南部中	黒柳 紗依 15.13 甲山中	山本 星姫 15.16 幸田中
4×100mR	田原東部中 50.32 伊藤 沙耶 澤口 朋実 井筒 夢乃 佐藤 那有	大治中 50.55 眞鍋 菜衣 藤本有希奈 吉田 名歩 渡邊 結衣	AC一宮 Junior 50.63 山邊 桜彩 祖父江亜希夏 仙石 理琴 原 さくら
走高跳	夏目 純佳 1.52 矢作北中	渡邊 紗希 1.50 TSM	小松 由奈 1.45 浄水中
棒高跳	杉澤 愛結 2.40 平坂中	足立 菜緒 2.20 古知野中 一安 結叶 2.20 平坂中	
走幅跳	犬飼 心彩 5.34 猪高中	伊藤 里桜 5.22 大須 AC	伊藤 弥生 4.94 御幸山中
砲丸投 (2.721kg)	片桐 舞 11.94 大高中	藤枝 樹里 10.72 猪高中	近藤 羽留 9.58 滝ノ水中
円盤投 (1.000kg)	伏木 杏莉 31.98 GR 東山中	紀國 佑香 26.76 TSM	脇田 梨愛 22.30 宮田中

第25回東海高等学校新人陸上競技選手権大会  
2022年10月29日(土)・30日(日)岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	石川 智基	愛工大名電	10.65
	2	向井 悠汰	中京大中京	10.76
	3	寺下 頼檜	豊川	10.77
200m	1	向井 悠汰	中京大中京	21.30 GR
	2	浅井 央真	瑞陵	21.83
	3	石川 智基	愛工大名電	21.92
400m	2	加藤 正清	至学館	49.59
	3	月野カイキ	豊川工科	49.61
800m	3	地案 尚宏	旭野	1.55.55
1500m	2	加藤 大地	愛知	4.00.32
110mH (1.067m)	1	横山 将也	中京大中京	14.25
	3	西垣 剛玖	中京大中京	14.87
400mH (0.914m)	1	鈴木 哉汰	名古屋大谷	53.55
	2	押田 周真	岡崎北	53.61
	3	駒井 菖瑛	中京大中京	54.04

4 × 400m	1	阪野 颯音 鈴木 蒼生 立浦 祥維 加藤 正清	至学館	3.16.51
	2	鈴木 權斗 小野 太陽 永田 敦也 竹森 斗渉	中京大中京	3.16.58
	3	鎌戸 煌大 足立 光太郎 田中 仁識 久田 凌大	桜丘	3.19.09
走高跳	1	加古 彩人	中京大中京	1.99
棒高跳	3	谷口 海斗	中京大中京	4.40
砲丸投 (6.000kg)	2	柳 勇次	誠信	15.34
	3	兵藤 拓郎	名古屋大谷	15.09
円盤投 (1.750kg)	3	根本 睦千	名古屋西	42.95
ハンマー投 (6.000kg)	1	河本 雅崇	名古屋大谷	53.89
	2	皆川 朋輝	三好	53.88

女子 (本県3位入賞のみ) (GR:大会記録)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	3	眞田 あこ	豊橋南	12.14
200m	3	眞田 あこ	豊橋南	24.99
400m	1	平野 里歩	中京大中京	55.21 GR
800m	1	市川 真帆	西春	2.13.16
	2	小原 ずさか	時習館	2.14.72
	3	江藤 柚葉	中京大中京	2.16.73
1500m	2	柴田 桃花	愛知	4.33.81
	3	浅井 慧	豊橋南	10.03.11
100mH (0.840m)	1	林 美希	中京大中京	13.51 GR
	3	片山 心菜	中京大中京	14.03
400mH (0.762m)	1	片山 心菜	中京大中京	1.01.75
	2	近藤 千聖	瑞陵	1.04.05
	3	杉藤 葵	中京大中京	1.04.12
5000mW	1	寺本 瑛美	旭丘	24.56.54
	2	塚本帆乃花	旭野	24.57.98
	3	大島 璃胡	津島	25.27.83
4 × 100m	3	岡田 翠 秋月 涼子 片山 心菜 林 美希	中京大中京	47.72
4 × 400m	1	中澤 愛菜 森 那帆 岡田 翠 平野 里歩	中京大中京	3.48.89 GR
	3	熊谷 実華 小酒井結菜 高津 采里 橋本真結子	時習館	3.54.04
棒高跳	3	岡部 陽奈	岡崎	3.10
走幅跳	1	松村 琴都	瑞陵	5.80
三段跳	1	仙石 華子	安城学園	11.47
砲丸投 (4.000kg)	1	山田 真央	安城学園	13.26
ハンマー投 (4.000kg)	1	川本葉々香	三好	52.89 GR
	3	小島日依梨	名古屋大谷	46.65
やり投 (0.600kg)	3	小野 真裕	時習館	47.16

第36回愛知県小学生陸上競技選手権大会  
2022年11月3日(木)パロマ瑞穂スタジアム

男子 (3位入賞のみ) (ER:県小学生記録 GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	白石 楓翔 7.63 豊川 AC	外山 幾也 7.66 豊橋陸上	宇佐美 隼 7.75 AC一宮Kids
5年 100m	二村 奏颯 12.72 GR あつみクラブ	平岩 陸斗 13.01 安城 JAC	坂川 舜 13.22 AC一宮Kids
6年 100m	鈴木 快旺 12.23 知立ジュニア	北村早千都 12.46 Spirits	駒月 志成 12.56 豊川 AC
4年 80mH(0.6m)	渡邊 椋太 14.15 TSM	杉山 航太 14.35 TSM 岡崎小学	原 貫太 14.90 TSM
5年 80mH(0.7m)	横地 輝昊 13.80 大須 AC	富山晃ノ介 14.29 大須 AC	東 耀大 14.38 大須 AC
6年 80mH(0.7m)	山根 拓士 11.92 GR ER 大須 AC	高橋 叶真 12.02 成岩 SC 陸上	矢田 獅温 12.43 TSM 岡崎小学
4年 走高跳	南沢 朔 1.19 へきなん陸上	江口 隼矢 1.13 JAC 武豊	岩本 貫汰 1.13 YOUKI 陸上
5年 走高跳	三井 舷稀 1.30 JAC 武豊	森 弥大 1.25 大須 AC	山本遼太郎 1.20 AC一宮Kids
6年 走高跳	山内 悠寛 1.44 豊川 AC	岩淵聡一郎 1.41 AC一宮Kids	稲垣 成 1.35 成岩 SC 陸上
4年 走幅跳	間瀬 真翔 4.07 YOUKI 陸上	鈴木 愛叶 3.77 へきなん陸上	鈴木 恒輝 3.75 布袋陸上クラブ
5年 走幅跳	吉井 一平 4.48 東浦 AC	石川 奨真 4.29 TFC 半田	平岡 昇真 4.09 Spirits
6年 走幅跳	熊澤 宗記 4.90 大須 AC	高井 智哉 4.90 JAC 武豊	曾我 俊斗 4.71 蒲郡クラブ
4年 ジャベリック ボール投	佐々木康太 37.38 なごや陸上	社本航太郎 37.20 AC一宮Kids	小田 明生 37.08 稲沢 AC
5年 ジャベリック ボール投	柴田 竜希 47.97 大須 AC	鈴木 悠真 45.06 トライル AC	藤本 英駿 43.63 TSM
6年 ジャベリック ボール投	三崎 連翔 47.72 大須 AC	富田 蓮馬 47.66 安城 JAC	服部 優杜 46.86 大須 AC

女子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	飯田 芽生 7.97 安城 JAC	矢ノ川久怜愛 8.08 JAC あつみ	落合 優花 8.08 なごや陸上
5年 100m	田村 優芽 13.63 なごや陸上	中村 乙葉 13.79 刈谷 AC	齋藤 唯花 14.22 美浜 AC
6年 100m	加藤 光桜 13.39 豊橋陸上	宮道葉々美 13.70 豊川 AC	竹本 沙良 13.71 安城 JAC
4年 80mH(0.6m)	加藤 青葉 14.56 成岩 SC 陸上	加藤いろは 14.60 いっしき陸上	榊原 梨乃 14.82 成岩 SC 陸上
5年 80mH(0.7m)	宮園 未莉 13.38 大須 AC	山本 依那 13.48 田原陸上	川瀬 彩葉 13.83 TSM 岡崎小学
6年 80mH(0.7m)	岡 菜月 12.43 TSM	水野 心渚 12.58 TSM	樋口 奈美 12.85 TSM
4年 走高跳	岩瀬 愛菜 1.19 西尾 AC Jr	稲垣 恋 1.13 成岩 SC 陸上	角田 篤美 1.10 刈谷 AC
5年 走高跳	榊原 りほ 1.25 TFC 半田	中島 優那 1.20 豊橋陸上	/
		内田 翔月 1.20 JAC 武豊	
		岩田 悠乃 1.20 大須 AC	
		高須 海璃 1.20 いっしき陸上	
		長谷川彩心 1.20 西尾 AC Jr	
6年 走高跳	浜本 恵瑠 1.30 TSM	岡崎 真子 1.30 TSM 岡崎小学	稲吉ここの 1.30 蒲郡クラブ
4年 走幅跳	山田 歩楓 3.78 成岩 SC 陸上	加藤 希呼 3.77 へきなん陸上	小林 聖奈 3.69 刈谷 AC
5年 走幅跳	西原 凧紗 4.19 TSM 岡崎小学	近藤 彩 4.11 TSM 岡崎小学	森田 あお 3.93 TSM 岡崎小学

6年 走幅跳	白滝 明彩 4.49 東浦 AC	上出 舞華 4.37 TSM	中島 桃夏 4.32 OBU エニスポ
4年 ジャベリック ボール投	山本 葵子 35.55 藤が丘 BC	中野 陽莉 29.77 大須 AC	浜島 翠夕 28.36 OBU エニスポ
5年 ジャベリック ボール投	齋藤 由莉 41.97 トライル AC	富田 瑠夏 40.18 TSM 岡崎小学	栃澤 依菜 35.52 JAC 武豊
6年 ジャベリック ボール投	安藤 心美 48.38 刈谷 AC	清田 雅妃 42.93 JAC あつみ	神戸 彩羽 41.61 トライル AC

男女混合 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
4年 混合 4×100mR	田原陸上 59.62 中村 柚莉 太田 裕都 松崎 嶺紗 木下大偉哉	JAC 武豊 59.91 井澤 萌菜 氏原 芹夏 加藤 陽向 西尾 天良	たかはま陸上 59.92 佐藤 莉紗 山下 櫻 山中 類翔 橋本 弘
	5年 混合 4×100mR	上郷 JAC 57.86 田中 理等 伊藤 佳心 三浦 愛珠 伊藤 悠翔	田原陸上 59.12 鈴木 菜月 佐藤 遼 橋本愛友美 渡邊 群志
6年 混合 4×100mR	トライル ACA 51.21 三輪 乃愛 山下 乃々葉 奥田 恭介 阿野 射己	キムランニングA 52.38 梶村 彩羽 織田 諒真 岡本 莉來 齋藤 蒼太	なごや陸上 A 52.42 野崎 和希 武井 陽南 鈴木 瑞彩 酒井 啓地

3区	森 千莉 (豊田大谷)	10.02
4区	秋竹 凜音 (豊川)	10.04
5区	林 那優 (豊川)	17.26

理事会等会議報告

○ 8月理事会 令和4年8月10日(水)

1. 協議事項

- ① 第77回国民体育大会愛知県代表選手団(役員・選手)の選考について
- ② その他

2. 報告事項

- ① 第77回国民体育大会代表選手の合宿について
- ② マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2023について
- ③ 第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会の成績について
- ④ 第49回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者について
- ⑤ 第38回全国小学生陸上競技交流大会出場者について
- ⑥ 各専門委員会より
- ⑦ 各地区陸上競技協会より
- ⑧ 各協力団体より

(水野 隆夫)

令和4年度愛知県高等学校駅伝競走大会  
2022年11月6日(日)一宮市大野極楽寺公園・木曾川沿川サイクリングコース

男子成績 (8位まで)

- 1 名経大高蔵 2.08.47  
(河野 温喜・内山 椋太・大内伶央斗・石濱 創志・田中 智稀・牧野 海斗・北林 陸音)
- 2 豊川 2.09.33
- 3 愛知 2.09.49
- 4 中部大第一 2.10.42
- 5 豊田大谷 2.13.43
- 6 岡崎城西 2.13.51
- 7 中京大中京 2.15.50
- 8 豊川工科 2.16.03

区間賞

- 1区 河野 温喜 (名経大高蔵) 29.56
- 2区 加藤 大地 (愛知) 8.33
- 3区 相地 一夢 (豊川) 24.45
- 4区 平松 龍青 (中部大第一) 24.36
- 5区 夏目 拓 (豊川) 8.39
- 6区 スタンリー 瀨安 (豊川) 15.08
- 7区 北林 陸音 (名経大高蔵) 15.05

女子成績 (8位まで)

- 1 豊川 1.11.33  
(吉田 莉帆・森 彩純・内田 詩乃・秋竹 凜音・林 那優)
- 2 豊田大谷 1.12.30
- 3 愛知 1.13.49
- 4 安城学園 1.14.10
- 5 人環大岡崎 1.14.58
- 6 岡崎城西 1.15.32
- 7 時習館 1.18.17
- 8 愛知黎明 1.19.10

区間賞

- 1区 吉田 莉帆 (豊川) 20.13
- 2区 森 彩純 (豊川) 13.38

栄章

おめでとうございます

去る10月10日「いちご一会」栃木国体の場で、令和3年度の秩父宮章の表彰式がありました。愛知では永田敏也氏と北村 肇先生両氏が受賞されました。

また、11月3日県小学生選手権の場で、稲垣早美氏に安藤百福賞の伝達表彰が行なわれました。それぞれおめでとうございます。



(水野 隆夫)

編集後記

◇印象に残る多くの場面が生まれたトラックシーズンが終わった。◇コロナ対応に終わりはなさそうだが、工夫を重ねて乗り切りたい。◇世界選手権、オリンピック、アジア大会と、先を見据えた努力が望まれる。◇寄稿に深謝。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直  
茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二  
山下ゆかり